

表1 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(1)

標本番号	採回番号	図版番号	所属時期	器種	法量(単位cm)			口唇部形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考	
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半				
14351-25008	16-4	15-7	後北C2-D	注口鉢	10.7	—	(8.4)	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文に沿い微隆起貼付を施し、刺突を充填。		横位のナデ	磁物片やや含	器形ゆがむ。注口上部にすかし。注口径3.2cm。底部外面に長条縄文・微隆起貼付・刺突を施文。	
34397	17-4	17-1	後北C2-D	深鉢	40.4	(31.4)	11.4	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を横走させ器面を上下に区画し、口縁部突起下に縦走させ縦位に4単位区画。さらに長条縄文により弧状・直線モチーフを組み合わせる。微隆起貼付を長条縄文に沿わせ、モチーフの空隙に刺突を充填。	RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。胴部下半外面にケズリ。胴部上半文様モチーフに沿い赤彩。外面スス付着。器形土庄によりゆがむ。	
34405	20-2	19-1	後北C2-D	深鉢	19.7	(19.0)	8.0	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走により、器面を横位に区画。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒・磁物片やや多含	平縁。外面胴部下半ケズリ一粗雑なナデ。口縁部粘土紐貼付以前にへら痕。	
34406	14-3	13-5	後北C1	深鉢	20.1	17.0	8.4	やや尖る。上端にキザミ。	3重の上げ底	RL長条縄文横走。3条一組の微隆起貼付により器面を区画し、さらに微隆起貼付により円形・弧状モチーフを描く。	RL長条縄文縦走後横走。微隆起貼付垂下。	ナデ	砂粒やや含	口縁部突起2個一対で4単位。		
34407	14-7	14-4	後北C1	深鉢	13.0	11.3	4.8	やや尖る。上端にキザミ。	わずかに上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による弧状モチーフを組み合わせる。	RL長条縄文縦走。微隆起貼付。	ナデ	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起2個一対で4単位。突起下唇上に張り出す。微隆起貼付のモチーフに沿い赤彩。摩滅激しい。	
34408	9-4	8-7	後北B	深鉢	24.0	17.9	(5.7)	尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を横位に区画し、さらに貼付による弧状モチーフを組み合わせる。貼付上とモチーフの空隙にキザミ。	RL長条縄文縦走	横位のヘラナデ	砂粒やや含	口縁部突起2個一対で4単位。粘土紐貼付に沿いへら痕。	
34409	4-13	3-12	江別太1	深鉢	12.8	9.4	(4.7)	丸く整える。外肩にキザミ。内肩に横。	上げ底	RL斜行縄文斜走～横走。横位の沈線により胴部と区画し、横位のキザミ列を施す。	RL斜行縄文斜走～横走。横位の沈線により上下を区画。横位のキザミ列を施す。	RL斜行縄文。沈線により縦曲状モチーフを描く。	横位の粗雑なナデ	砂粒やや含	口縁部突起2単位。内面口縁部と胴部の境に明瞭な線をもち、積み上げ痕顕著。外面摩滅激しい。	
34410	20-6	19-5	後北C2-D	注口深鉢	(15.3)	15.3	7.7	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文縦走		横位のナデ	砂粒やや多含	外面粘土帯接合による凹凸顕著。注口部付近炭化物付着。	
34411	9-7	9-2	後北B	深鉢	(18.0)	(13.0)	—	やや尖る。外肩にキザミ。	—	粘土紐貼付。キザミを貼付に沿わせる。	粘土紐貼付により上下を区画し、複雑なモチーフを描く。貼付に沿わせ、あるいはモチーフの空隙にキザミを充填。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起2個一対で4単位か。突起下貼付。	
34412	7-1	6-1	後北A	深鉢	12.8	10.8	4.5	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付2条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。突起下粘土紐貼付垂下。横位の短沈線。横位のキザミ列。貼付上と短沈線端部にキザミ。	RL長条縄文縦走。短沈線のキザミを施す。	斜位～横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起4単位か。突起下の貼付モチーフは2箇所ずつ付をなす。外縁接合。外面摩滅激しい。	
34430	20-8	19-7	播文	長胴壺	13.1	15.1	7.2	内外肩に横をもち、上端面ややくぼむ。	平底	横位沈線1条。(横位のナデ)	無文(縦位のハケ目)		斜位のハケ目・ヘラナデ 口縁部横位のナデ	砂粒やや多含	平縁。口縁部・胴部階段状沈線。底部木炭痕。	
34431	13-4	13-2	後北C1	深鉢	(27.1)	21.6	8.6	やや尖る。上端に浅いキザミ。	ほぼ平底	RL長条縄文横走。2条一組の微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付により円形・弧状モチーフを組み合わせる。	RL長条縄文縦走後、一部横走。	ナデ	細砂やや含	器形大きゆがむ。口縁部突起2個一対で4単位。		
34432	9-3	8-4	後北B	深鉢	21.6	16.9	6.0	やや尖る。外肩にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦横に区画。斜位の貼付を組み合わせる。貼付上と貼付の空隙にキザミ。	RL長条縄文縦走		横位のナデ	細砂やや含	口縁部突起4単位。突起下に貼付。	
34434	20-11	19-10	播文	坏	6.9	10.5	6.8	丸く整える	平底	無文(横位のミガキ)	横位の沈線により器面を区画。3条一組の斜位の沈線を粗雑に組み合わせ、縦曲状モチーフを描く。		ハケ目横位のミガキ	砂粒含	平縁。内面黒色処理。	
34435	7-4	6-4	後北A	深鉢	19.4	14.8	6.2	やや尖る。外肩に縦長のキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走	斜位のヘラナデ斜位の粗雑なミガキ	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起2個一対で4単位。突起下に粘土紐貼付垂下。口縁部から胴部に赤彩垂下。	
34436	8-3	7-3	後北B	深鉢	14.8	12.7	4.4	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施し、貼付に沈線を沿わせる。貼付上と間にキザミを加え、一部短沈線を施文。	RL長条縄文縦走後、一部横走。	ナデ	口縁部付近横位のミガキ	砂粒含	口縁部突起4単位。突起およびそれに伴う文様割付ややゆがむ。
34437	14-8	14-5	後北C1	深鉢	10.2	9.5	4.4	やや尖る。上端にキザミ。	ほぼ平底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付を施し、貼付に沈線を沿わせる。キザミを充填。	RL長条縄文縦走後、横走。	横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起4単位。突起部外方に張り出す。胴部上半微隆起貼付に沿い赤彩。	
34438	17-5	17-2	後北C2-D	鉢	5.9	6.5	2.9	尖る。上端にキザミ。	平底		RL長条縄文により横位・斜位のモチーフを描き、微隆起貼付・刺突列を沿わせる。		横位の粗雑なナデ	砂粒含	平縁。底部内面からの焼成前穿孔2孔	
34439	4-10	3-9	H37栄町	注口鉢	(6.6)	(7.5)	(3.6)	やや尖る。上端にキザミ。	やや上げ底	無文	RL斜行縄文		ナデ。指痕顕著。	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起2単位。1箇所が発達し、注口となる。外面摩滅激しい。	
34440	8-6	7-6	後北B	深鉢	(13.1)	(10.4)	4.0	尖る。外肩にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付2条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を区画。短沈線列・貼付上にキザミを施す。	RL長条縄文縦走	横位の粗雑なナデ	岩片わずかに含		
34441	13-5	13-3	後北C1	深鉢	35.0	26.2	10.5	やや尖る。上端に浅いキザミ。	わずかに上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による円形・弧状モチーフを組み合わせる。	RL長条縄文縦走後、横走	ナデ	砂粒含	口縁部突起2個一対で4単位。突起部瘤状にやや張り出す。内外面炭化物付着。	
34442	8-1	7-2	後北B	深鉢	28.7	22.0	7.8	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画。さらに微隆起貼付により弧状モチーフを組み合わせる。キザミ列を充填。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起2個一対で4単位。突起部瘤上に張り出す。	
34443	20-5	19-2	後北C2-D	鉢	11.5	13.5	6.1	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	(RL斜行縄文)		横位のナデ	砂粒・岩片やや含	口縁部突起4単位。内外面炭化物付着顕著。器形土庄のためゆがむ。	
34444	3-5	2-4	H317	鉢	4.3	(11.0)	5.4	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	片木状原体による複数段の横位キザミ列			ナデ	砂粒やや多含	平縁。上面梨舟形。底部外面に刺突。内外面全面赤彩。	

器高の括弧は残存高を、口径・底径の括弧は推定復元値であることを示す。以下表6まで同様。

表2 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(2)

標本番号	挿図番号	図版番号	所属時期	器種	法量(単位cm)			口唇部形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考	
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半				
34445	3-9	2-9	H37栄町	鉢	5.6	8.9	4.3	丸く整える	わずかに上げ底	無文(指痕)			指痕→縦位のナデ	砂粒・岩片やや舎	口縁部内面からの焼成前穿孔1孔。内面爪痕顕著。摩滅激しい。	
34446	8-5	7-5	後北B	吊耳甕	10.1	5.7	3.7	丸く整える	上げ底	粘土紐貼付2条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走		縦位～斜位のヘラ痕→横位のナデ	砂粒舎	口縁部突起2単位。突起に焼成前穿孔が施され、吊耳状を呈する。胴部最大径7.1cm。外面摩滅激しい。	
34447	4-2	3-1	H37栄町	鉢	5.0	7.2	2.4	丸く整える	上げ底	無文(指痕)			横位のナデ	砂粒舎	底部2箇所に分かれる。口縁部焼成前穿孔1孔(内面から)。内面爪痕顕著。摩滅激しい。	
34448	14-2	13-4	後北C1	深鉢	(7.4)	6.6	—	尖る	上げ底	微隆起貼付により直線・弧状モチーフを組み合わせる。刺突を充填。			ナデ	細砂やや舎	口縁部焼成前穿孔2孔(穿孔方向不明)。内面炭化物付着。	
34449	15-3	15-2	後北C2-D	深鉢	22.5	21.2	10.2	やや尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を横走させ上下を区画。さらに長条縄文により弧状モチーフを描く。長条縄文に微隆起貼付を沿わせ、刺突を微隆起貼付に沿わせる。		無文(縦位のケズリーナデ)	斜位～横位のヘラナデ	細砂・鉱物片やや多舎	口縁部突起4単位。文様構成は突起と対応しない。微隆起貼付やや太い。外面炭化物付着顕著。
34450	11-7	11-2	後北C1	深鉢	25.2	(20.2)	(6.1)	尖る。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦位に区画し、円形・弧状モチーフを組み合わせる。		RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒舎	平縁。
34451	16-2	15-5	後北C2-D	深鉢	18.2	19.6	7.1	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走・横走させ器面を区画。さらに長条縄文により円形・弧状モチーフを描く。長条縄文に沿い微隆起貼付を施し、刺突列を充填。		横位のナデか	細砂・鉱物片やや多舎	平縁。柄縁孔2孔。内面胴部下半粘土帯接合痕。内面胴部上半炭化物付着顕著。	
34452	11-2	10-4	後北C1	深鉢	11.3	9.6	3.5	尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦位に区画。さらに弧状モチーフを組み合わせる。		RL長条縄文縦走。微隆起貼付。	横位のナデ	砂粒やや舎	口縁部突起4単位。微隆起貼付間に赤彩。
34454	3-10	2-10	H37栄町	鉢	4.3	7.4	3.0	丸く整える。上端にまばらにキザミ。	上げ底	横位の沈線を粗雑に施す。			ナデ	砂粒舎	平縁。口縁部外面からの焼成前穿孔1孔。内面爪痕顕著。摩滅激しい。	
34455	8-4	7-4	後北B	深鉢	11.0	(10.1)	4.4	尖る	上げ底	粘土紐貼付を2条施し、キザミを沿わせる。	RL長条縄文横走。横位のキザミ列・縦位の短沈線。		RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒やや舎	口縁部突起4単位。外面摩滅激しい。
34456	6-2	5-2	後北A	深鉢	9.5	9.1	3.8	尖る。上端にキザミ	上げ底	粘土紐貼付を施し、キザミを沿わせる。	RL長条縄文横走。4単位の粘土紐貼付が胴部下半まで垂下。貼付にキザミを沿わせる。横位のキザミ列。		RL長条縄文縦走。底部付近のみ横走。	ケズリーナデ	小磯・砂粒舎	口縁部突起2単位。突起部に大きく張り出す。
34457	10-3	9-7	後北C1	深鉢	8.8	8.6	5.7	やや尖る。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付		RL長条縄文横走。微隆起貼付。		ナデ	砂粒やや舎	口縁部突起4単位。
34458	19-3	18-2	後北C2-D	把手鉢	6.4	9.3	5.8	尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文を胴部半ばに横走。その上端では鋸歯状モチーフを描き、下位には縦走させる。それらのモチーフに微隆起貼付と刺突列を沿わせる。			横位のナデ	砂粒・鉱物片舎	口縁部突起4単位。1箇所を把手状に成形し焼成前穿孔を施す。底部外側からの焼成後穿孔。	
34459	5-7	4-7	江別太2	深鉢	10.4	8.3	2.7	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。突起下にV字状貼付。横位沈線施文。沈線にキザミを沿わせる。	RL長条縄文横走。2条一組の縦位沈線とその間に充填される斜位の短沈線・キザミにより上下を区画。沈線により逆V字状モチーフを描き、キザミを施す。		RL長条縄文縦走	粗いナデ	細砂やや舎	口縁部突起4単位。突起下の貼付モチーフ間に焼成前穿孔2孔(穿孔方向不明)。内面積み上げ痕顕著。
34460	3-8	2-6	H317	—	(4.2)	—	7.2	—	やや上げ底	—			RL長条縄文横走	横位のナデ	砂粒やや舎	胴部下半の腹口縁は内外面幅広の接合面を持つ。底部外面ややはり出す。内外面炭化物付着。
34461	3-7	2-7	H317	鉢	11.8	13.3	4.2	丸く整える	わずかに上げ底	無文(指痕→横位のナデ)			無文(指痕→斜位～縦位のナデ)	斜位の粗雑なヘラ痕	砂粒・硬やや多舎	底部付近ややくびれる。器壁厚い。
34462	18-3	16-6	後北C2-D	深鉢	18.3	18.3	7.8	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走させ4単位に器面を区画。さらに横走させ上下を区画し、弧状・直線モチーフを組み合わせる。		RL長条縄文縦走	縦位のユビナデー口縁部付近横位のナデ	砂粒・岩片やや舎	口縁部突起4単位。内面炭化物付着。
34463	9-2	8-5	後北B	深鉢	23.2	18.4	5.7	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上に細かいキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦位に区画。弧状モチーフを加える。貼付上と貼付モチーフの空隙に細かいキザミを施す。		ナデ	砂粒・鉱物片やや舎	口縁部突起2個一対と1個のもの2箇所ずつ(4単位)。内外面炭化物付着。	
34464	7-6	6-6	後北A	深鉢	23.8	17.9	5.4	やや尖る。上端にキザミ。	やや上げ底	粘土紐貼付2条	RL長条縄文横走。粘土紐貼付、貼付上と器面にキザミ列を施し、短沈線列で器面を縦位に区画。さらに短沈線を貼付に沿わせる。		RL長条縄文縦走	横位の粗雑なナデ	砂粒やや舎	口縁部突起4単位。底部外面やや光沢を呈する。短沈線にはササクレ痕。
34465	10-2	9-4	後北B	深鉢	20.4	16.3	4.4	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	(RL長条縄文横走)微隆起貼付により器面を縦位に区画し、2ないし3条一組の微隆起貼付による弧状モチーフを連続して充填する。貼付上とその間にキザミを加える。		RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒舎	口縁部突起2個一対と1個のもの2箇所ずつ(4単位)。
34466	10-1	9-3	後北B	深鉢	20.3	16.1	5.2	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付3条	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦位に区画。さらに弧状に貼付を施す。貼付上とその間にキザミを充填する。		RL長条縄文縦走	粗雑なナデ	岩片やや舎	口縁部突起4単位。
34467	8-9	8-2	後北B	深鉢	19.0	13.5	5.4	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦横に区画。さらに斜位に貼付を施す。貼付上とその間にキザミを充填。突起下の貼付間に縦位の短沈線を施す。		RL長条縄文縦走	横位のヘラナデー口縁部付近横位のナデ	砂粒舎	口縁部突起2個一対と1個のもの2箇所ずつ(4単位)。内外面炭化物付着。摩滅激しい。
34468	10-5	9-6	後北C1	深鉢	15.9	13.5	6.6	尖る。上端にキザミ	上げ底	微隆起貼付	微隆起貼付により器面を縦位に区画し、弧状モチーフを組み合わせる。微隆起貼付間に横位の短沈線・キザミを充填。		RL長条縄文縦走後、一部横走。微隆起貼付垂下。	横位のヘラナデー横位のナデ	砂粒やや舎	口縁部突起4単位。外面上半に赤彩。
34469	10-6	10-1	後北C1	深鉢	30.0	25.0	6.8	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付3条	RL長条縄文横走。微隆起貼付を弧状に施し、短沈線列を縦位に加える。円形刺突列を横位に施す。		ナデ	砂粒やや多舎	口縁部突起2個一対と1個のもの2箇所ずつ(4単位)。	
34470	7-7	6-7	後北A	深鉢	24.8	19.9	5.9	上端面を持つ。内外面に面取りを施し、上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文縦走後、横走。横位の沈線を施す。	RL長条縄文を横走させ器面を区画し、横位の弧状モチーフを描く。長条縄文に沈線を沿わせ、2条一組の斜位沈線を組み合わせ鋸歯状モチーフを描く。一部縦位の短沈線。		RL長条縄文縦走	横位のヘラナデーナデ	円磨した砂粒やや舎	平縁。内外面炭化物付着。外面縄文施文後の器面研磨なし。

表3 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(3)

標本番号	挿図番号	図版番号	所属時期	器種	法量(単位cm)			口唇部形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半			
34472	5-5	4-5	江別太2	深鉢	22.0	15.3	(4.8)	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。口縁部突起下に粘土紐貼付。横位の沈線を描き、キザミを加える。	RL長条縄文横走。横位の沈線により上下を区画し、口縁部突起に対応したモチーフを描く。斜位の短沈線列・キザミ列を加える。	RL長条縄文横走。斜位沈線を組み合わせ、縦帯モチーフを描く。	横位のヘラナデ→横位のナデ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。突起下の粘土紐貼付および胴部上半のモチーフは2箇所ずつをなす。
34473	11-3	10-5	後北C1	深鉢	16.2	13.2	4.4	尖る。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、さらに微隆起貼付による円形・菱形モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙にキザミを充填。	RL長条縄文横走。微隆起貼付。横位のキザミ列。	斜位のヘラナデ→横位のナデ	細砂含	口縁部突起2個一対で4単位。微隆起貼付のモチーフに沿って赤彩。
34490	18-2	10-5	後北C2-D	注口鉢	8.1	13.5	6.1	尖る。上端にキザミ。	やや上げ底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走後横走させて器面を区画、さらに縦走する単位を充填。		横位のナデ	砂粒・植物片含	口縁部突起2単位。1箇所が大きく発達し、内面からの焼成前穿孔を施され注口部となる。注口上部にさらに貫通孔が施され把手状をなす。底部内面からの焼成後穿孔。内面スリ付着。
34491	18-1	10-4	後北C2-D	注口鉢	(9.4)	(11.7)	—	尖る。上端にキザミ。	—	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走後、横走させ器面を区画、さらに長条縄文により弧状・直線モチーフを充填する。モチーフの空隙に刺突を充填。		ナデ	粗砂やや多量	口縁部突起2単位。1箇所が注口となる。突起の中間にはやや大きいキザミが施される。縄文本体には筋の細かさが異なる2種類が見られる。
34512	8-2	7-1	後北B	深鉢	19.2	14.6	4.8	やや尖る。上端に浅いキザミ。	上げ底	粘土紐貼付3条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施し、貼付上にキザミを加える。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。突起部が唇上に張り出す。頂部にやや大きいキザミ。
34660	17-2	10-2	後北C2-D	深鉢	14.8	17.0	8.2	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を横走させ上下およびその間を区画、その後縦走させ縦位5単位に区画する。さらに長条縄文を横走させる。	胴部上半と同様に、RL長条縄文による縦位5単位区画。さらに長条縄文を縦走。	ナデ	砂粒やや多量	平縁。補修孔2孔。粘土帯接合による器面の凹凸激しい。
38389	6-3	5-3	後北A	深鉢	19.0	13.4	5.8	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付2条。貼付上とその上にキザミ。	RL長条縄文横走。横位のキザミ列を施し、短沈線により縦帯モチーフを描く。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。1箇所のみ2個一対となる。内面積み上げ痕顕著。炭化物付着。
38390	12-4	12-3	後北C1	吊耳壺	19.4	11.0	5.4	丸く整える。外周に細かいキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。一部縦走させる。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、さらに微隆起貼付による円形・弧状モチーフを縦横に組み合わせる。	RL長条縄文縦走後、横走。一部さらに縦走させる。		横位のヘラナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。対となる2箇所が大きく発達し、焼成前穿孔が2孔ずつ施されて吊耳状を呈する。他の1箇所が外方に引き出され片口状を呈する。吊耳部には上端に浅い円形刺突。胴部最大径13.2cm。外面微隆起貼付に沿って赤彩。外面摩滅激しい。
38391	14-9	14-8	後北C1	深鉢	15.7	15.0	6.7	やや尖る。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による弧状モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙に刺突を充填。	RL長条縄文縦走後、横走。	横位のナデ	細砂含	口縁部突起2個一対で4単位。外面炭化物付着。摩滅激しい。
38392	6-1	5-2	後北A	深鉢	(22.3)	19.3	—	やや尖る。外周に浅いキザミ。	—	粘土紐貼付を施し、キザミを沿わせる。	RL長条縄文横走。キザミ列および斜位の浅い短沈線列を横位に施す。突起下に浅い短沈線垂下。	RL長条縄文縦走	横位のヘラナデ→ナデ	砂粒やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。突起部瘤状にやや張り出す。頂部に刻み。内縁接合。内外面炭化物付着。
38393	15-1	15-1	後北C1	壺	19.5	9.5	4.4	上端面を持ち、内外周を丸く整える。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による円形・弧状・斜位のモチーフを組み合わせる。モチーフの空隙にキザミを充填。	RL長条縄文縦走	斜位のヘラナデ→横位のユビナデ	粗砂やや多量	口縁部突起4単位。対となる2箇所が大きく張り出す。胴部最大径13.7cm。
38394	8-8	7-8	後北B	深鉢	13.3	10.8	4.8	丸く整える。外周にキザミ。	2重の上げ底	粘土紐貼付を施し、貼付間にキザミを充填。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施し、貼付間および空隙にキザミ。短沈線を加える。	RL長条縄文縦走。粘土紐貼付垂下。貼付上にキザミ。	ナデ	砂粒やや多量	内外面炭化物付着。短沈線にはササクレ痕が見られる。
38395	14-10	14-7	後北C1	深鉢	24.4	19.2	7.5	丸く整える。上端に浅いキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、円形・弧状モチーフを加える。	RL長条縄文縦走後、一部横走。	ナデ(口縁部付近横位のヘラナデ)	砂粒やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。突起部瘤状に張り出す。外面微隆起貼付に沿って赤彩。底部外面赤彩。内外面炭化物付着。
38396	5-1	4-1	江別太2	深鉢	(17.7)	14.5	5.1	薄く尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。斜位の短沈線列ないし横位の沈線により上下を区画、刺突列を沿わせる。口縁部突起下に沈線でX字状モチーフを描き、その間に縦帯モチーフを充填。	RL斜行縄文の後、RL長条縄文横走。斜位の短沈線列ないし横位の沈線により上下を区画、刺突列を沿わせる。口縁部突起下に沈線でX字状モチーフを描き、その間に縦帯モチーフを充填。	RL長条縄文縦走	横位のナデ。底部付近ヘラナデ。		口縁部突起4単位。外面炭化物付着。
38397	19-7	18-8	後北C2-D	注口深鉢	17.2	16.1	7.1	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走させ器面を区画し、さらに長条縄文による弧状モチーフを組み合わせる。長条縄文に微隆起貼付を沿わせ、空隙に刺突を充填。		横位のナデ。注口下部位では縦位のユビナデ。	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。1箇所の突起下に注口が作り出される。注口上部に外面からの焼成前穿孔1孔。内外面炭化物付着。微隆起貼付には器壁と異なる赤色粘土を使用。
38398	16-4	16-7	後北C2-D	把手深鉢	16.9	17.0	7.4	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走後、縦走させ器面を区画、弧状・斜位のモチーフを組み合わせる。モチーフの空隙に刺突を充填。	RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。1箇所が大きく発達し、把手状をなす。把手状突起部に焼成前穿孔1孔。
38399	20-4	19-4	後北C2-D	深鉢	9.3	8.6	4.9	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。		(RL長条縄文縦走)	ケズリ→粗雑なナデ	細砂やや多量	平縁。器壁や厚手。内面炭化物付着。
38400	7-2	6-2	後北A	深鉢	9.4	7.6	3.4	丸く整え、内側に弱い稜を持つ。上端にキザミ。	上げ底	縦位沈線により器面を4単位に区画。横位のキザミ列。	RL長条縄文横走	RL長条縄文縦走	ナデ	細砂やや多量	口縁部に内面からの焼成前穿孔1孔。外面手ずれの為か光沢を呈する。外縁接合。底部外面張り出す。
38401	18-8	17-5	後北C2-D	片口鉢	11.4	14.8	8.0	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走させた後、横走。さらに長条縄文により弧状モチーフを描く。		ナデ	砂粒・植物片やや多量	口縁部突起4単位。突起の一端を引き出し、片口状に整える。片口部に外面からの焼成前穿孔2孔。部分的に赤彩される。
38402	20-3	19-3	後北C2-D	鉢	11.1	13.3	5.5	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。長条縄文に沿って微隆起貼付。	RL長条縄文縦走。長条縄文の筋単位間に刺突を充填。	ナデ	粗砂やや多量	口縁部突起4単位。突起は大小2箇所ずつあり、対となる。外面被熱顕著。内面炭化物付着顕著。
38403	11-6	11-1	後北C1	深鉢	24.9	19.5	5.1	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦横に区画し、弧状モチーフを組み合わせる。貼付上および空隙にキザミ。	RL長条縄文縦走後、部分的に横走。	ナデ	細砂やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。突起部貼付。

表4 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(4)

標本番号	持図番号	図版番号	所属時期	器種	法量(単位cm)			口唇部形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半			
38404	4-1	2-11	H37栄町	深鉢	16.1	16.0	7.4	やや尖る。上端にまばらに浅いキザミ。	わずかに上げ底	原形RLの側面圧痕。1箇所粘土帯貼付。	RL斜行縄文を縦走	横位のナデ	砂粒・岩片やや多量	平縁。外面炭化物付着。	
38405	3-1	2-1	H317	鉢	18.8	20.5	9.0	やや外屈。内面に浅い縁。外周にキザミ。	上げ底	口縁部に沿うキザミ列。突起付近に縦位のキザミ列と浅い短沈線。	RL長条縄文横走。一部縦位の浅い短沈線。	指痕一横位のナデ	砂粒含	口縁部突起2個一対で4単位。突起下に外側からの焼成前穿孔1孔ずつ。内面積み上げ痕顯著。外縁接合。外面口縁部から胴部に縦位に赤彩垂下。底部外面にキザミ・赤彩。	
38406	11-5	10-6	後北C1	深鉢	21.1	16.5	5.7	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、弧状モチーフを組み合わせる。	横位のナデ	砂粒含	口縁部突起2個一対のもの、1個のもの2箇所ずつ(4単位)。補修孔2孔。	
38407	10-4	9-5	後北C1	吊耳壺(23.3)	13.5	6.5	尖る。上端に浅いキザミ。	やや上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、弧状モチーフを組み合わせる。	RL長条縄文縦走。微隆起貼付垂下。	横位のナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。突起部に焼成前穿孔1孔ずつ施され、吊耳状を呈する。胴部最大径16.9cm。微隆起貼付彩色の色調の粘土を使用。外面全面赤彩。底部外面張り出す。	
38408	4-3	3-2	H37栄町	壺	10.7	3.9	4.9	丸く整える。	上げ底	LR長条縄文横走。横位の沈線。	RL長条縄文斜走。沈線により器面をモチーフを描く。	ナデ	砂粒・磁物片やや含	平縁。口縁部外側からの焼成前穿孔一対(2孔)。内面積み上げ痕顯著。外面一部赤彩。摩滅激しい。	
38409	5-8	4-6	江別太2	鉢	5.8	5.9	3.1	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走	RL長条縄文縦走後、一部横走。	ナデ	砂粒含	口縁部突起2箇所。突起頂部に大きいキザミ。突起下に外面からの焼成前穿孔1孔ずつ。内面積み上げ痕顯著。	
38410	19-1	18-1	後北C2-D	片口鉢	6.8	7.0	4.1	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走させ器面を縦位に区画。弧状モチーフを縦横に組み合わせ、2単位の文様構成をとる。長条縄文の空隙に刺突を充填。	横位のナデ	砂粒やや含	口縁部の一端を大きく引き出し、片口状に整える。	
38411	17-3	16-3	後北C2-D	深鉢	9.8	8.5	4.4	尖る。内面に横。	平底	RL長条縄文横走。さらに長条縄文による斜位の直線を組み合わせ、菱形モチーフを2単位描く。長条縄文の空隙に刺突を充填。	RL長条縄文縦走～斜走	ナデ	粗砂やや含	口縁部文様モチーフに対応し、2箇所縦やかな小波状をなす。内外面炭化物付着。	
38412	5-6	4-6	江別太2	深鉢	9.3	(8.0)	3.4	やや尖る。外周にキザミ。	上げ底	沈線を横位に施し、沈線間にキザミ・斜位の短沈線を充填。	RL長条縄文横走	ナデ	砂粒・岩片やや含	口縁部突起4単位。胴部上半にごく浅い工具痕が見られる。内面積み上げ痕のこる。	
38413	17-1	16-1	後北C2-D	深鉢	28.8	22.7	9.6	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走後縦走させ、器面を縦横に区画。弧状・半円状のモチーフを組み合わせる。	RL長条縄文縦走	横位のミガキ	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起4単位。内外面炭化物付着。
38414	20-1	18-7	後北C2-D	深鉢	21.1	22.7	9.0	やや尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文により器面を縦横に区画。さらに縦走させる。	RL斜行縄文。RL長条縄文を縦走させ、胴部上半同様に器面を縦位に区画。さらに長条縄文縦走。	横位のヘラナデ	円縁をやや含	口縁部突起2単位。外面下半縦位のケズリ。
38415	11-4	10-7	後北C1	深鉢	24.5	19.3	5.3	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、さらに微隆起貼付による弧状・円形モチーフを組み合わせる。貼付の空隙にキザミを充填。	RL長条縄文縦走後、一部横走。微隆起貼付垂下。	横位のミガキ	砂粒含	口縁部突起2個一対のもの、1個のもの2箇所ずつ(4単位)。突起部貼付。
38416	12-1	12-1	後北C1	吊耳壺	26.0	10.2	6.3	丸く整える。まばらに浅いキザミ。	2翼の上げ底	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、弧状・円形モチーフを縦横に組み合わせる。	RL長条縄文縦走後横走。微隆起貼付により胴部上半と一連の文様構成をとる。	横位のヘラナデーナデ	粗砂・岩片やや多量	口縁部突起4単位。突起頂部に焼成前穿孔1孔ずつ施し、吊耳状を呈する。突起上面に円形刺突。外面および突起上面のモチーフに濃い赤彩。胴部最大径16.9cm。	
38417	3-2	2-2	H317	深鉢	18.5	19.9	6.7	内傾面を持ちやや外屈。外周にまばらなキザミ。	わずかに上げ底	LR斜行縄文横走	RL斜行縄文横走	指痕一横位～斜位のヘラナデー横位のナデ	砂粒含	口縁部突起5単位。補修孔一対(2孔)。底部外面やや張り出す。内面積み上げ痕顯著。内面炭化物付着。	
38418	4-14	3-13	江別太1	深鉢	23.9	16.9	6.4	上端面を持つ。内外周を面取り。外周にキザミ。	上げ底	口縁部突起下と、突起間の胴部やや下位にボタン状の貼付(8単位)。RL長条縄文横走。縄文施文単位間に複数本の沈線を充填。突起下にキザミ列整下。	RL長条縄文縦走	指痕一横位のナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。突起頂部にやや大きいキザミ。外面胴部下半縄文施文後に器面研磨。内面積み上げ痕顯著。炭化物付着顯著。	
38419	12-5	12-2	後北C1	吊耳壺	20.6	11.6	5.7	上端面を持ち、内外周を丸く整える。上端にキザミ。	2翼の上げ底	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を縦横に区画し、さらに微隆起貼付による円形・弧状モチーフを縦横に組み合わせる。	RL長条縄文縦走後、横走。微隆起貼付により胴部上半と一連の文様構成をとる。	横位のナデ	砂粒・磁物片やや含	口縁部突起4単位。突起部は大きく発達し、焼成前穿孔が2孔ずつ施され、吊耳状を呈する。吊耳状突起上端には円形刺突。胴部最大径15.6cm。内面積み上げ痕。外面微隆起貼付によるモチーフに濃い赤彩。摩滅激しい。	
38420	13-3	11-4	後北C1	深鉢	18.4	15.0	6.2	やや尖る。上端にキザミ。	平底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による弧状モチーフを組み合わせる。貼付の空隙にキザミ・刺突を充填。	RL長条縄文縦走後、横走。	横位のヘラナデー横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起2個一対のもの、1個のもの2箇所ずつ(4単位)。外面全面赤彩。
38421	3-4	2-6	H317	鉢	12.8	15.0	6.5	上端面を持つ。上端にまばらなキザミ。	上げ底	原形Rの側面圧痕。	LR斜行縄文横走	指痕一横位のヘラナデ	砂粒含	口縁部突起5単位。突起頂部にやや大きいキザミ。隣接する2箇所のみ、突起下に内面からの焼成前穿孔1孔ずつ。底部外面やや張り出す。	
38422	14-4	14-1	後北C1	深鉢	15.9	14.5	7.2	尖る。上端にキザミ。	わずかに上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を区画し、さらに微隆起貼付による弧状・円形・直線モチーフを縦横に組み合わせる。	RL長条縄文縦走後、横走。微隆起貼付により胴部上半と一連の文様構成をとる。	横位のナデ	砂粒やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。底部外面やや張り出す。
38423	5-2	4-2	江別太2	深鉢	17.5	12.4	5.1	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。突起下に粘土紐貼付。横位の沈線を複数条施し、沈線間に斜位の短沈線を連続して充填する。貼付上にキザミ。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。突起頂部にやや大きいキザミ。突起下の貼付モチーフは2種類あり、2箇所ずつ対をなす。	
38424	18-7	17-6	後北C2-D	深鉢	17.1	18.5	8.5	尖る。上端にキザミ。	わずかに上げ底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文で器面を縦横に区画し、弧状・円形のモチーフを充填。それらモチーフに微隆起貼付を沿わせ、空隙に刺突を充填。	RL長条縄文縦走	平滑。横位のナデ。	粗砂やや多量	口縁部突起2個一対のもの、1個のもの2箇所ずつ(4単位)となり、胴部上半のモチーフに対応する。外面縦位に赤彩。底部外面赤彩。

表5 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(5)

標本番号	採回番号	図版番号	帰属時期	器種	法量(単位cm)			口唇形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半			
38425	9-1	8-3	後北B	深鉢	14.1	11.5	(4.8)	やや尖る。上端にキザミ	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施し、貼付上にキザミ。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起4単位。突起部貼付。内面炭化物付着。内傾接合。
38426	18-5	17-4	後北C2-D	注口鉢	10.0	11.7	6.0	やや尖る	平底	無文(ケズリーナデ)			横位のナデ	粗砂多含	注口上部に粘土紐貼付5条。貼付上にキザミ。注口内面に積み上げ痕のこる。内面全面赤影。
38427	9-6	9-1	後北B	深鉢	11.4	9.8	4.0	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施し、貼付上にキザミ。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走。上半同様の粘土紐貼付・キザミ。	横位のナデ	砂粒・植物片やや多含	口縁部突起4単位。粘土紐貼付間に赤影。
38428	19-5	18-5	後北C2-D	把手鉢	12.1	13.0	6.2	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文による弧状モチーフを組み合わせ、2単位の文様構成を描く。長条縄文に微隆起貼付を沿わせ、刺突を充填。	RL長条縄文を縦走させ、4単位に器面を区画。	横位のナデ	砂粒・植物片やや多含	口縁部突起4単位。突起の箇所が大きく発達し、把手状をなす。把手部に焼成前穿孔1孔。内外面炭化物付着顕著。
38429	5-9	4-9	江別本2	深鉢	(11.5)	—	—	—	上げ底	—	RL長条縄文横走。横位の沈線を施し、キザミ列・短沈線による連続籠歯状モチーフを描く。	RL長条縄文縦走	横位~斜位の粗粒なナデ	砂粒・植物片やや含	内面積み上げ痕顕著。外面部分的に赤影。
38430	6-4	5-4	後北A	深鉢	(12.6)	9.5	4.5	やや尖る。外側にキザミ。	平底	RL長条縄文横走。横位のキザミ列。		RL長条縄文縦走	ナデか	砂粒やや含	口縁部突起4単位。内面炭化物付着。
38431	7-3	6-3	後北A	深鉢	12.9	10.6	4.5	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上とその間にキザミ。	RL長条縄文横走。突起下にV字状貼付垂下。斜位の短沈線列および突起下に縦位の沈線・キザミ。	RL長条縄文縦走。横位の沈線および短沈線列。	ナデ	砂粒やや含	口縁部突起4単位。内面炭化物付着顕著。
38432	15-2	15-3	後北C1	深鉢	(11.1)	11.0	4.0	尖る	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに弧状・円形モチーフを組み合わせる。微隆起貼付によるモチーフ間にキザミを充填。	RL長条縄文縦走後、横走。	横位のナデ	細砂やや含	口縁部突起4単位。突起部やや張り出す。
38433	4-4	3-3	H37栄町	壺	6.9	(2.3)	3.0	丸く整える。	わずかに上げ底	無文(ナデ)			ナデ	砂粒やや含	平縁。口縁部焼成前穿孔2孔(穿孔方向不明)。麻減激しい。
38434	11-1	10-3	後北C1	深鉢	8.4	8.2	3.0	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文縦走。微隆起貼付を施しキザミを充填。		横位のナデ	砂粒やや含	口縁部突起4単位。
38435	4-5	3-4	H37栄町	鉢	5.4	5.9	3.1	丸く整える。	上げ底	LR斜行縄文斜走~横走			ナデ	砂粒含	平縁。内面爪痕顕著。
38436	3-6	2-5	H317	鉢	4.4	7.4	4.3	上端面を持ち、内外側を丸く整える。	わずかに上げ底	沈線により三角形のモチーフを描き、キザミを沿わせる。			横位のナデ	粗砂含	口縁部突起2個一対で2単位。口縁部外面からの焼成前穿孔2孔。底部外面キザミ列により三角形モチーフを描く。外面全面赤影。
38437	4-6	3-5	H37栄町	鉢	4.9	7.4	3.7	丸く整える。上端にキザミ。	わずかに上げ底	LR斜行縄文			横位のナデ	砂粒含	平縁。口縁部焼成後穿孔1孔。外面赤影により三角形モチーフを描く。内面わずかに赤影。
38438	4-0	3-7	H37栄町	鉢	5.2	7.2	5.5	丸く整える。上端にキザミ。	わずかに上げ底	LR斜行縄文			横位のナデ	細砂やや多含	平縁。口縁部外面からの焼成前穿孔1孔。麻減激しい。
38439	4-7	3-6	H37栄町	鉢	5.1	7.3	5.1	丸く整える。	わずかに上げ底	横位のキザミ列	無文	横位のキザミ列	横位のナデ	砂粒含	平縁。底部外面キザミ列。内面爪痕顕著。麻減激しい。
38440	4-9	3-8	H37栄町	鉢	5.0	7.0	3.2	丸く整える。上端にキザミ。	わずかに上げ底	刺突列により三角形モチーフを4単位描く			横位のナデ	細砂やや多含	平縁。口縁部外面からの焼成前穿孔1孔。外面刺突列に沿って赤影。底部外面やや張り出す。底部外面刺突列。内面爪痕顕著。
38441	4-11	3-11	H37栄町	深鉢	5.3	4.5	2.6	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	無文(指痕)			ナデ	砂粒含	平縁。口縁部外面からの焼成前穿孔2孔。麻減激しい。
38442	4-12	3-10	H37栄町	鉢	4.0	7.2	—	内傾面を持つ	丸底	無文(指痕)			横位のナデ	砂粒含	平縁。内面および底部外面わずかに赤影。
38443	16-1	15-4	後北C2-D	深鉢	(9.4)	—	6.0	—	平底	—	RL長条縄文により器面を区画。さらに長条縄文による斜位の直線を組み合わせ、菱形モチーフを2単位描く。モチーフに沿って微隆起貼付。	無文	ケズリーナデ	砂粒含	内外面炭化物付着顕著。底面ゆがむ。
38444	9-5	8-6	後北B	深鉢	24.7	17.4	(6.3)	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付により器面を縦横に区画し、さらに弧状の貼付を組み合わせる。貼付に沿って沈線。貼付上側にキザミ。	RL長条縄文縦走	横位~斜位のヘラナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。短沈線サケレ痕顕著。胴部下半の長条縄文手ずれ。
38652	19-2	18-3	後北C2-D	把手鉢	10.2	9.1	5.9	尖る。上端にキザミ。	平底	RL長条縄文により縦横に器面を区画し、さらに長条縄文による弧状・円形モチーフを組み合わせる。長条縄文に微隆起貼付を沿わせ、刺突を充填。			横位のナデ	砂粒含	口縁部の一側に把手状突起。内面積み上げ痕。
39119	14-6	14-3	後北C1	深鉢	12.9	11.9	4.8	尖り気味に整え、上端にキザミ。	上げ底	LR斜行縄文を施した後、沈線により器面を横位に区画。さらに沈線による斜位・弧状・円形モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙に刺突を充填。	RL長条縄文横走。沈線に沿って		ナデ	細砂やや多含	口縁部突起2個一対で4単位。沈線・刺突間に赤色顔料付着。外面麻減が激しい。
39120	13-1	11-5	後北C1	片口壺	9.8	5.9	8.2	上端に面を持つ。一端を外方に引き出す。	わずかに上げ底	微隆起貼付を横位に施す。	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに円形・弧状モチーフを組み合わせる。空隙にキザミを充填。		ナデ	砂粒・植物片等をやや含	口縁の一側に外方に引き出され、片口状を呈する。片口の反対側には3個一対の突起。五角形に近い上面を呈する。残りの突起頂部には大きいキザミ。
39121	12-6	12-6	後北C1	片口深鉢	11.6	10.1	5.0	尖る。上端にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付により円形・弧状モチーフを組み合わせる。		RL長条縄文縦走後、横走。	ナデ	砂粒やや多含	口縁部突起4単位。突起の箇所が外方に引き出され、片口状を呈する。片口の反対側には3個一対の突起。五角形に近い上面を呈する。残りの突起頂部には大きいキザミ。
39122	8-11	8-1	後北B	深鉢	12.2	9.5	4.1	丸く整え、上端にキザミ。	わずかに上げ底	RL長条縄文を横走させ、粘土紐貼付を施す。貼付や口縁に沿ってキザミを施す。		RL長条縄文縦走。2条一組の短沈線を一部横位に施し、キザミを加える。	胴部下半は粗いヘラナデ。上半は横位のナデ。	砂粒やや多含	口縁部突起4単位。胴部上半の貼付モチーフは2箇所ずつ対をなす。外面麻減激しい。

表6 旧豊平川右岸丘陵地出土土器属性表(6)

標本番号	挿入番号	図版番号	所属時期	器種	法量(単位cm)			口唇形態および施文	底部形態	外面の文様			内面調整	胎土	備考
					器高	口径	底径			口縁部	胴部上半	胴部下半			
39123	5-3	4-3	江別太2	深鉢	14.2	10.6	4.7	上端に面を持ち、外周にキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。斜位の短沈線を連続して施す。	RL長条縄文横走。上下を横位の沈線により区画し、その間に沈線によるモチーフを描く。	RL長条縄文縦走	粗雑なナデ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位、突起頂部に大きいキザミ、突起下に粘土紐貼付、内面積み上げ痕顕著。外面炭化物付着。
39124	3-3	2-3	H317	鉢	9.9	13.8	9.9	丸く整え、上端にキザミ。	上げ底	原体Rの側面圧痕	LR斜行縄文		ナデ	細砂含	口縁部突起2個一対で2単位、突起下に内面からの焼成前穿孔(2孔)。口縁部内面にLR斜行縄文とキザミ列。一部赤彩。
39125	8-7	7-7	後北B	深鉢	14.8	11.7	4.4	尖る。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付3条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。粘土紐貼付を施す。貼付上とその間にキザミを充填。	RL長条縄文縦走。その後一部横走。	横位のナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。内外面炭化物付着顕著。
39126	14-1	13-1	後北C1	深鉢	19.5	17.3	5.4	やや尖る	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により縦横に器面を区画し、さらに弧状の貼付を組み合わせる。モチーフの空隙に横位の沈線を充填。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	細砂含	口縁部突起4単位。外面炭化物付着顕著。
39127	19-4	18-4	後北C2-D	注口深鉢	12.2	13.0	5.6	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文により器面を縦横に区画。さらに長条縄文による弧状モチーフを組み合わせる。それらモチーフに沿って微隆起貼付を施し、刺突を充填。		横位のナデ	砂粒含	口縁部突起4単位。突起下の1箇所注口が作り出される。注口端部にキザミ。内面積み上げ痕見られる。
39128	19-6	18-6	後北C2-D	注口深鉢	15.4	15.5	7.5	やや尖る。上端にキザミ。	わずかに上げ底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文により器面を縦横に区画。さらに長条縄文による弧状モチーフを組み合わせる。それらモチーフに沿って微隆起貼付を施し、刺突を充填。		横位のナデ	砂粒含	注口内面に積み上げ痕。注口下位の内面一部ケズリ。
39129	13-2	11-3	後北C1	深鉢	18.3	16.6	7.3	上端面を持つ。内外周を丸く整える。上端にキザミ。	わずかに上げ底	RL長条縄文横走。2条一組の微隆起貼付により器面を横位に区画。さらに微隆起貼付による弧状モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙に刺突を充填。		横位のヘラナデ→横位のヘラナデ・口縁部付近横位のナデ	砂粒やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。外面全面赤彩。底部外面やや張り出し、RL長条縄文施文。	
39135	6-6	5-6	後北A	深鉢 (34.7)	22.9	7.2	やや尖る。外周にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付1条。貼付上および下位にキザミ列。	RL長条縄文横走。口縁部突起下から粘土紐貼付垂下。一部横位に沈線を施す。横位のキザミ列。	RL斜行縄文	横位のナデ。上半一部ヘラナデ。	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。突起部やや外周。突起下の貼付モチーフは2箇所ずつ対をなす。口縁内面RL斜行縄文。内面積み上げ痕顕著。	
39136	12-3	12-5	後北C1	深鉢	21.4	17.0	6.3	やや尖る。上端に細かく浅いキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。微隆起貼付を施し、器面を横位に区画。さらに弧状・円形モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙に刺突を充填。		横位ヘラナデ→横位ユビナデ。口縁部付近横位のヘラナデ。	砂粒やや多量	口縁部突起3個一対と2個一対のもの2箇所ずつ(4単位)。微隆起貼付のモチーフ内と胴部下半横位に赤彩。底部外面赤彩。	
39137	14-5	14-2	後北C1	深鉢	17.8	13.6	6.2	やや尖る。上端に細かく浅いキザミ。	上げ底	RL長条縄文横走。微隆起貼付を施す。		RL長条縄文縦走。その後一部横走。	横位のナデ	砂粒やや多量	口縁部突起2個一対で4単位。微隆起貼付および胴部下半の横走する縄文に浅い赤彩。
39138	20-7	19-6	円形・刺突文土器群	片口鉢	12.3	12.5	8.8	上端面を持つ。内外周を丸く整える。	わずかに上げ底	無文(一部ケズリ片口に沿いつけるナデ→横位のミガキ。底部付近横位のナデ)			底部付近横位のケズリ→横位のナデ→横位のヘラナデ→横位のミガキ	砂粒・岩片含	口縁の一端が大きく引き出され、片口状に整えられる。片口の反対側に2個一対の口縁部突起。厚薄差しい。
39142	12-2	12-4	後北C1	吊耳鉢	19.1	8.1	4.9	やや尖る。外周にキザミ。	上げ底	微隆起貼付	RL長条縄文横走。微隆起貼付により器面を横位に区画し、さらに微隆起貼付による弧状・円形モチーフを組み合わせる。モチーフの空隙にキザミを充填。	RL長条縄文縦走。その後一部横走。	横位のナデ・口縁内面付近ヘラ痕	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。突起部に焼成前穿孔が施され吊耳状を呈する。胴部最大径13.1cm。胴部内面一部赤彩。
39143	16-3	15-6	後北C2-D	注口皿 (7.4)	18.0	—	尖る。上端にキザミ。	横やかな丸底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文により底部外面を含め器面を縦横に区画し、さらに長条縄文による弧状モチーフを組み合わせる。モチーフに沿って微隆起貼付を施し、空隙に刺突を充填。		横位のナデ	粗砂・岩片やや多量	口縁部突起4単位。注口径3.4cm。注口上部にすかし。微隆起貼付色の粘土を使用。長条縄文に沿った赤彩。	
39250	20-9	19-6	撥文	坏	5.2	15.0	—	丸く整える	横やかな丸底	無文(横位のミガキ)		無文(横位のハケ目)	ミガキ(横位→縦位)	粗砂やや多量	平縁。内面黒色処理。
39252	20-10	19-9	撥文	坏	5.1	9.3	4.1	上端面を持つ。内外周を面取り。	平底	無文(横位・斜位のミガキ)		無文(ハケ目→ミガキ)	ミガキ(横位→斜位)	粗砂やや多量	平縁。内面黒色処理。
39253	17-6	17-3	後北C2-D	深鉢	20.0	19.6	7.8	尖る。上端にキザミ。	平底	粘土紐貼付1条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文を縦走させ、器面を4単位に区画。さらに長条縄文を横走させる。刺突を充填。	長条縄文を縦走させ、胴部上半同様に4単位に器面を区画。さらに縦走する単位を充填。	横位のナデ	粗砂やや多量	平縁。補修孔一対(2孔)。内面炭化物付着。
39254	9-5	5-5	後北A	深鉢	21.1	16.0	6.1	やや尖る。外周にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付2条。貼付上と間にキザミ列。	RL長条縄文横走。口縁部突起から粘土紐貼付垂下。一部横位の短沈線。横位のキザミ列。貼付上・短沈線の端部にキザミ。	RL長条縄文縦走	横位のナデ	粗砂・岩片やや多量	口縁部突起4単位。内面胴部上半積み上げ痕顕著。
39255	8-10	7-9	後北B	深鉢	12.8	10.9	5.4	丸く整える。上端にキザミ。	わずかに上げ底	粘土紐貼付3条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走	ナデ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。突起頂部やや大きいキザミ。内面炭化物付着。
39256	5-4	4-4	江別太2	深鉢 (19.1)	13.4	—	丸く整える。上端にキザミ。	(上げ底)	RL長条縄文横走。粘土紐貼付4箇所垂下。横位の沈線。キザミ。	RL長条縄文横走。2条一組の横位沈線により上下を区画。短沈線により扇状・斜位等のモチーフを描く。沈線間にキザミ充填。	RL長条縄文縦走	上半横位のミガキ	砂粒やや多量	口縁部突起4単位。内面口縁部・胴部間に軽い稜。外面の貼付・区画沈線に沿った赤彩。	
39257	10-7	10-2	後北C1	深鉢	17.5	14.5	(5.0)	やや尖る。上端にキザミ。	上げ底	微隆起貼付4条	RL長条縄文横走	RL長条縄文縦走	ナデ	細砂やや多量	口縁部突起4単位。突起部張り出す。内面炭化物付着。
39258	7-5	6-5	後北A	深鉢	15.6	11.9	5.6	丸く整える。上端にキザミ。	上げ底	粘土紐貼付3条。貼付上にキザミ。	RL長条縄文横走。横位のキザミ列。	RL長条縄文縦走	上半横位のヘラナデ	砂粒やや多量	口縁部突起2単位か。外面厚減。内面炭化物付着。

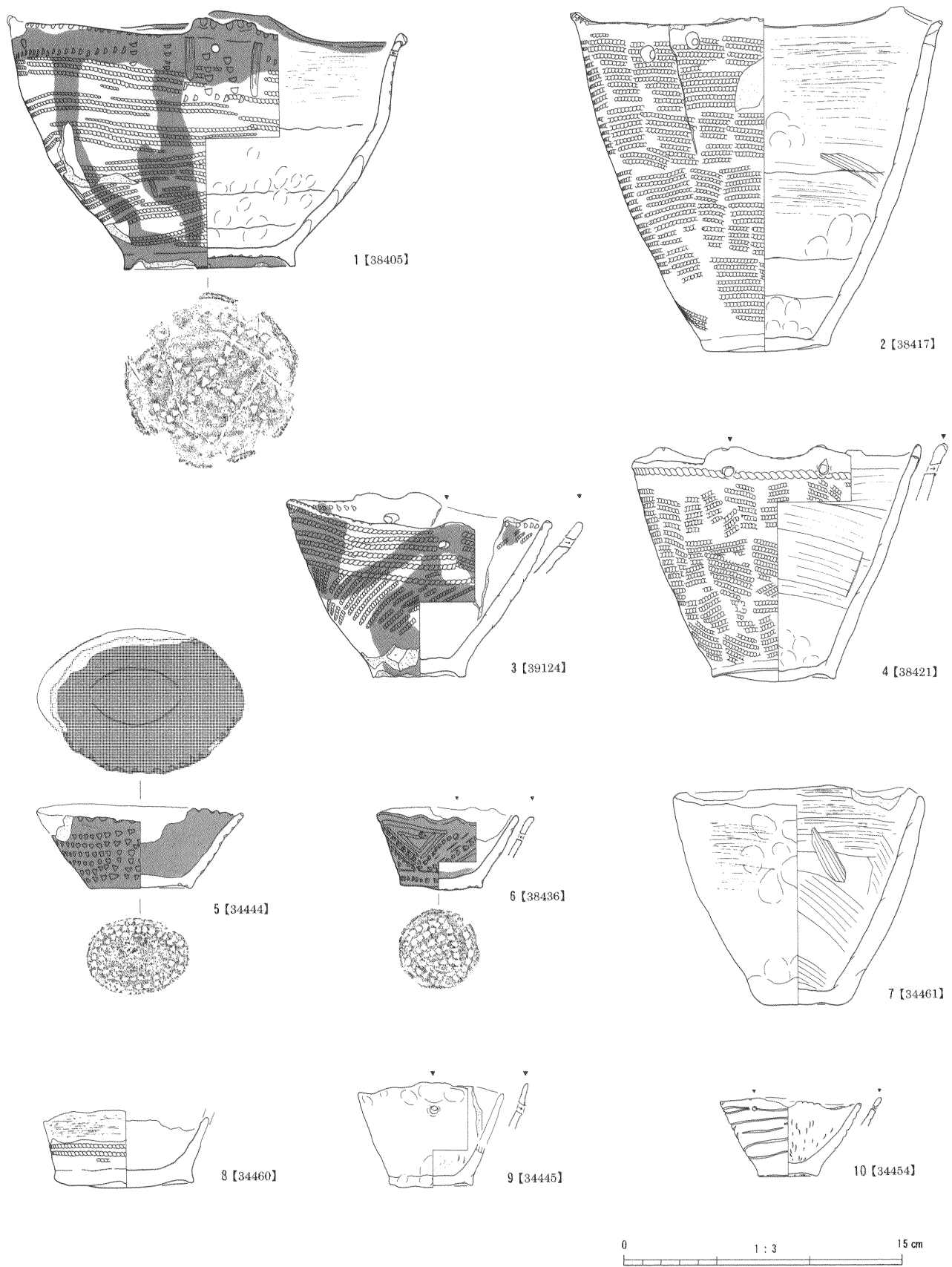


図3 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(1) [トーン部赤彩範囲, 以下図22まで同]





图4 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(2)



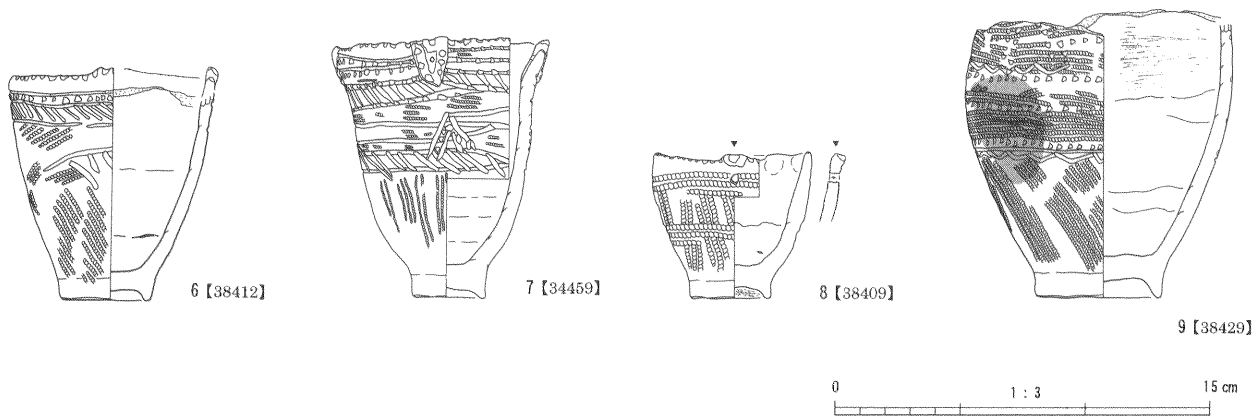
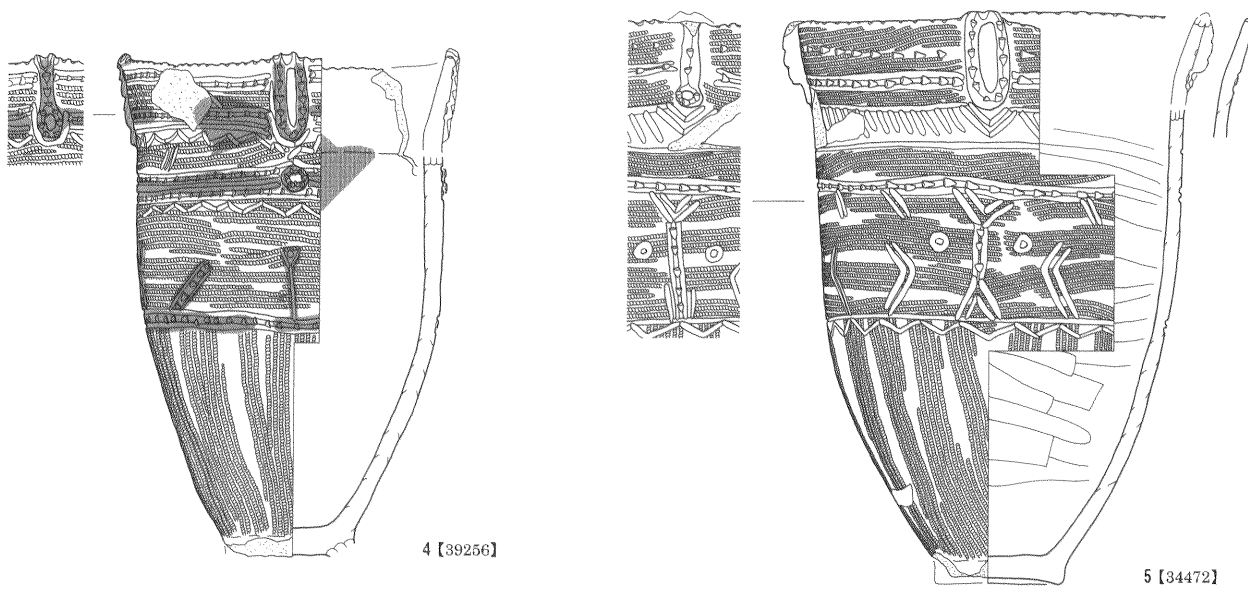
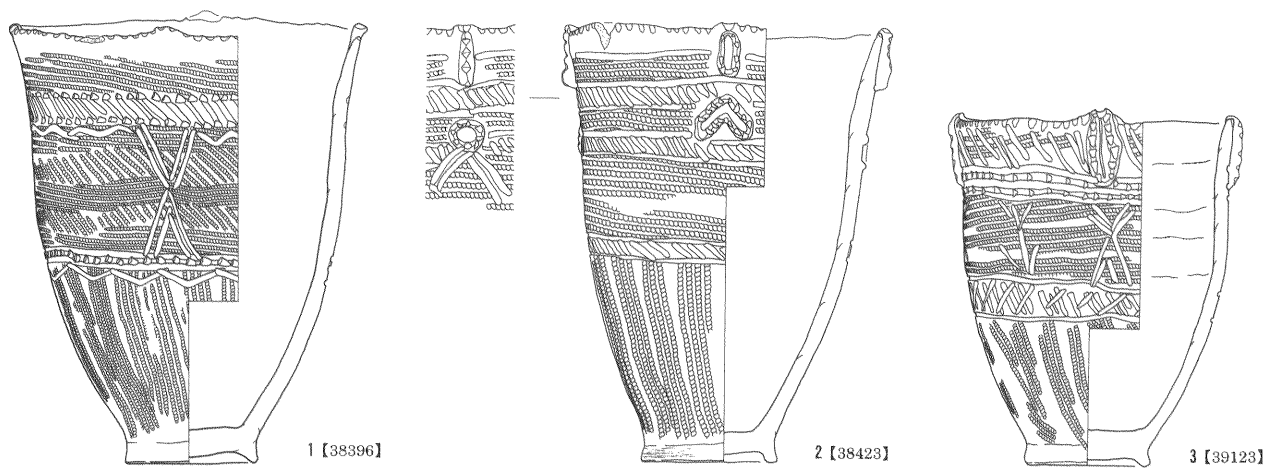


图5 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(3)

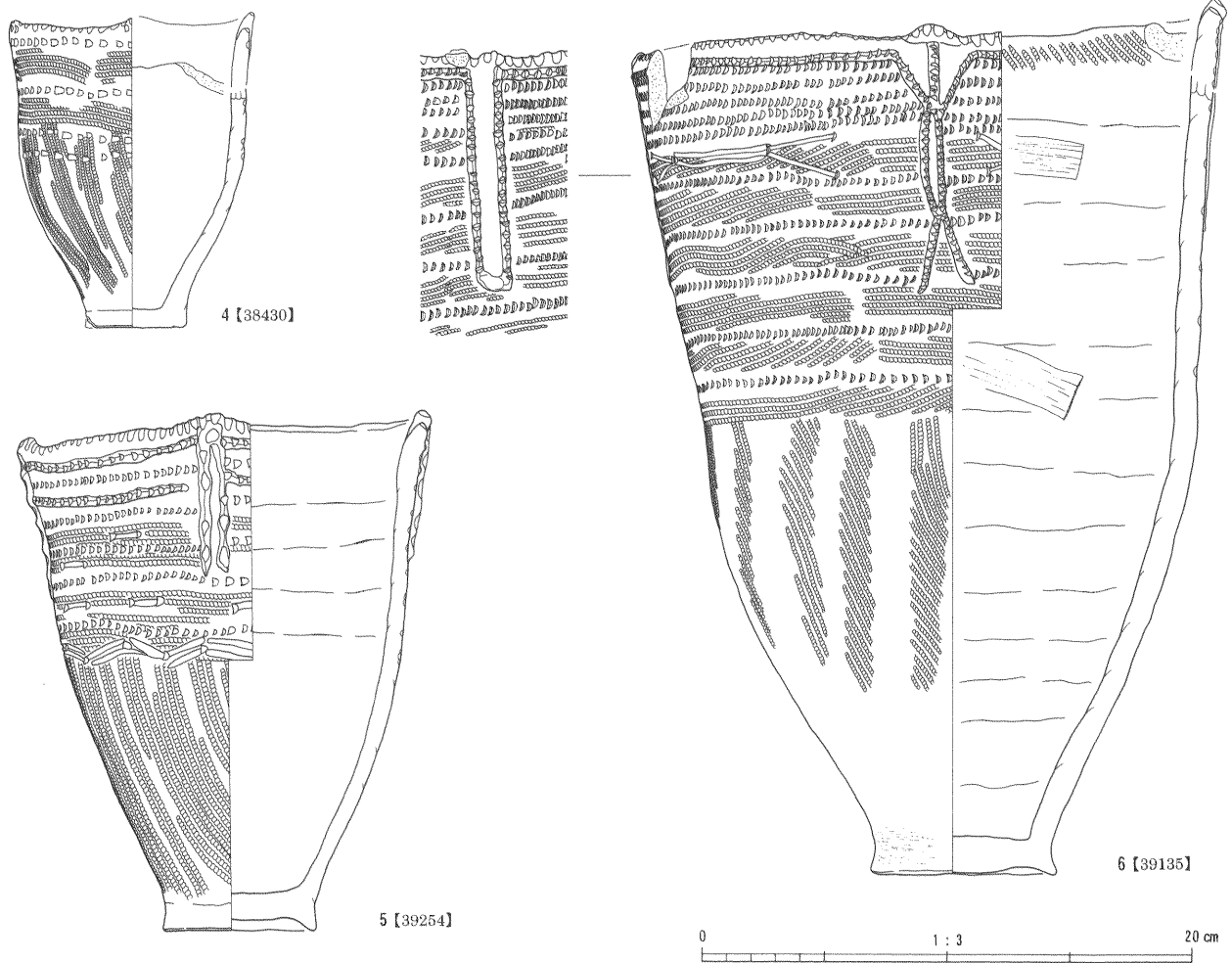
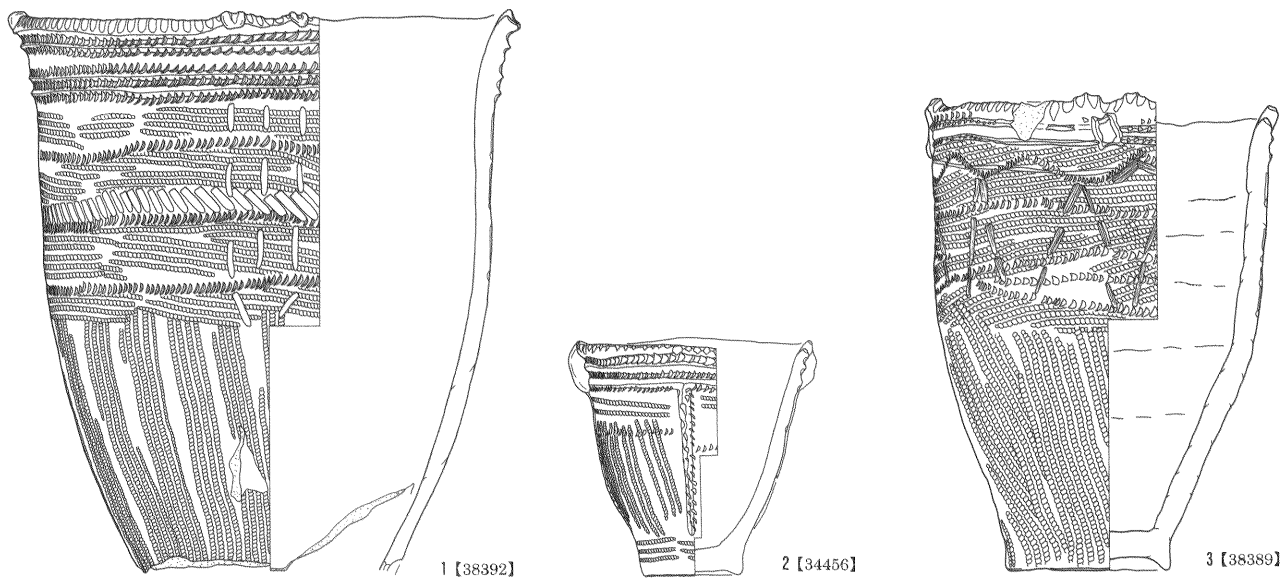


图6 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(4)

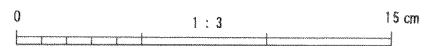
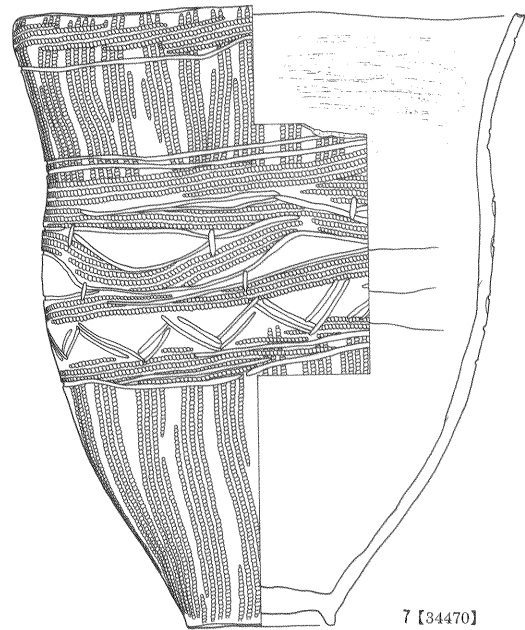
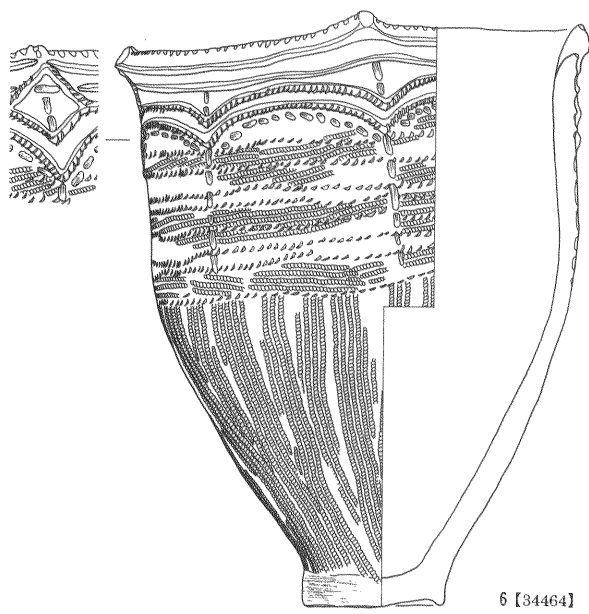
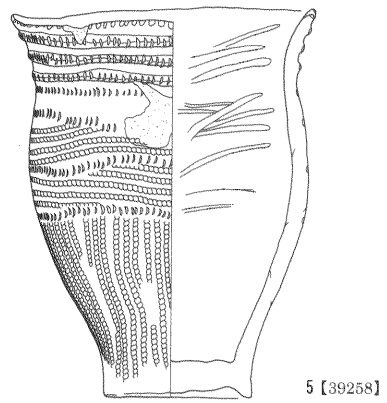
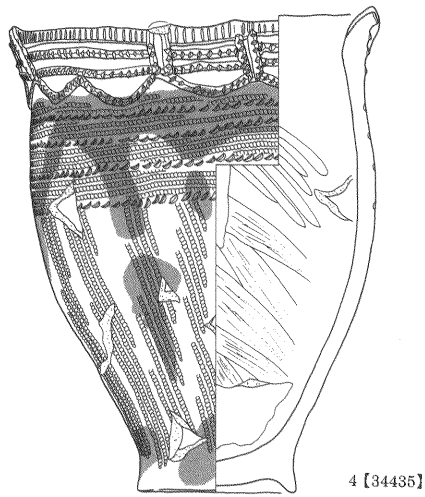
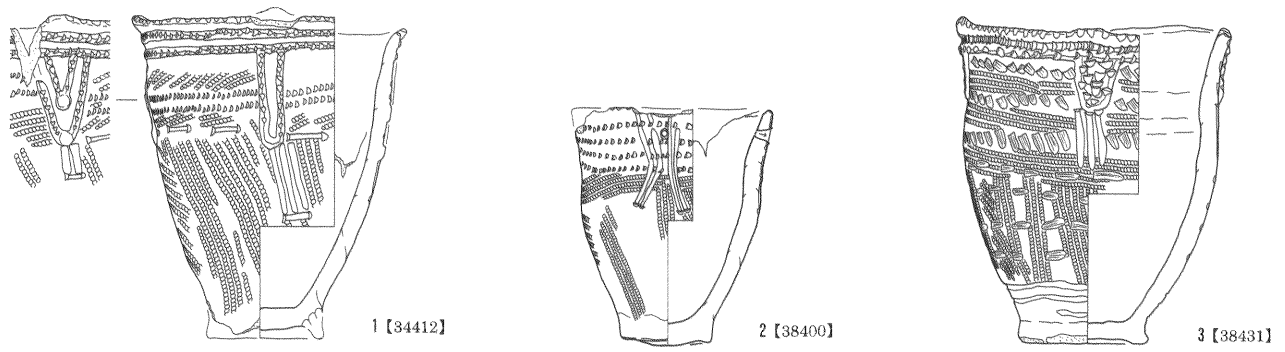


图7 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(5)

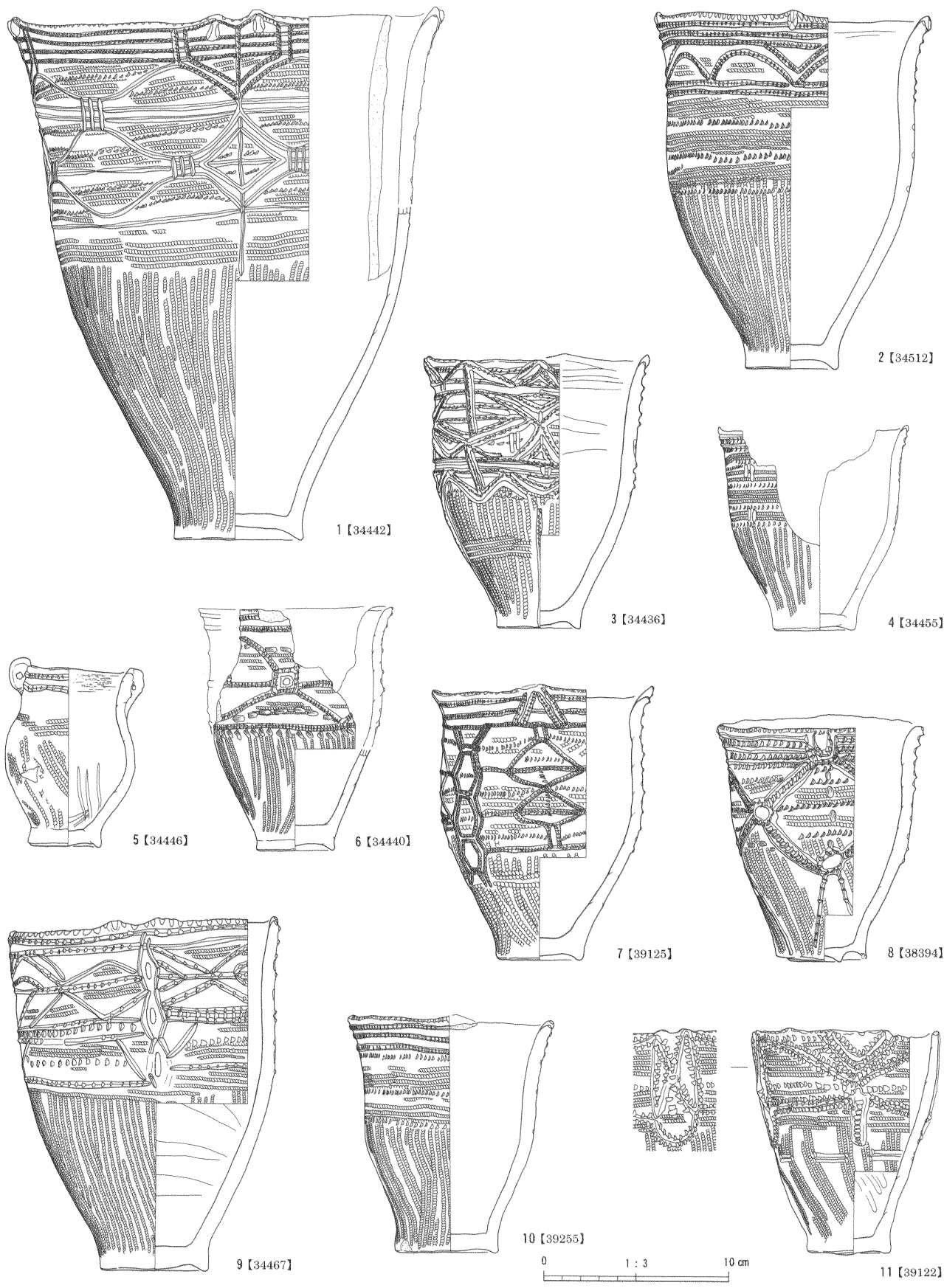


图8 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(6)

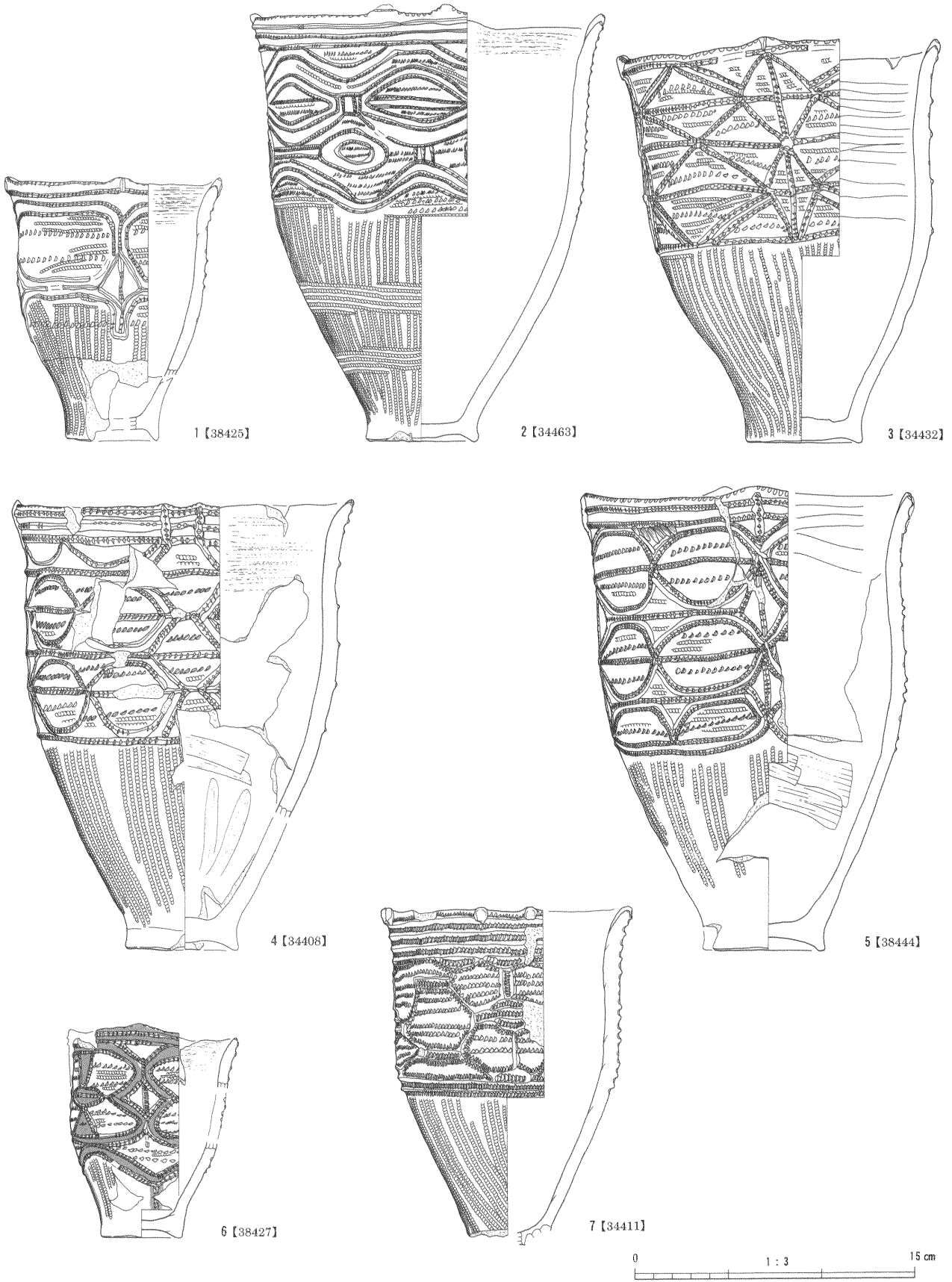


図9 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(7)

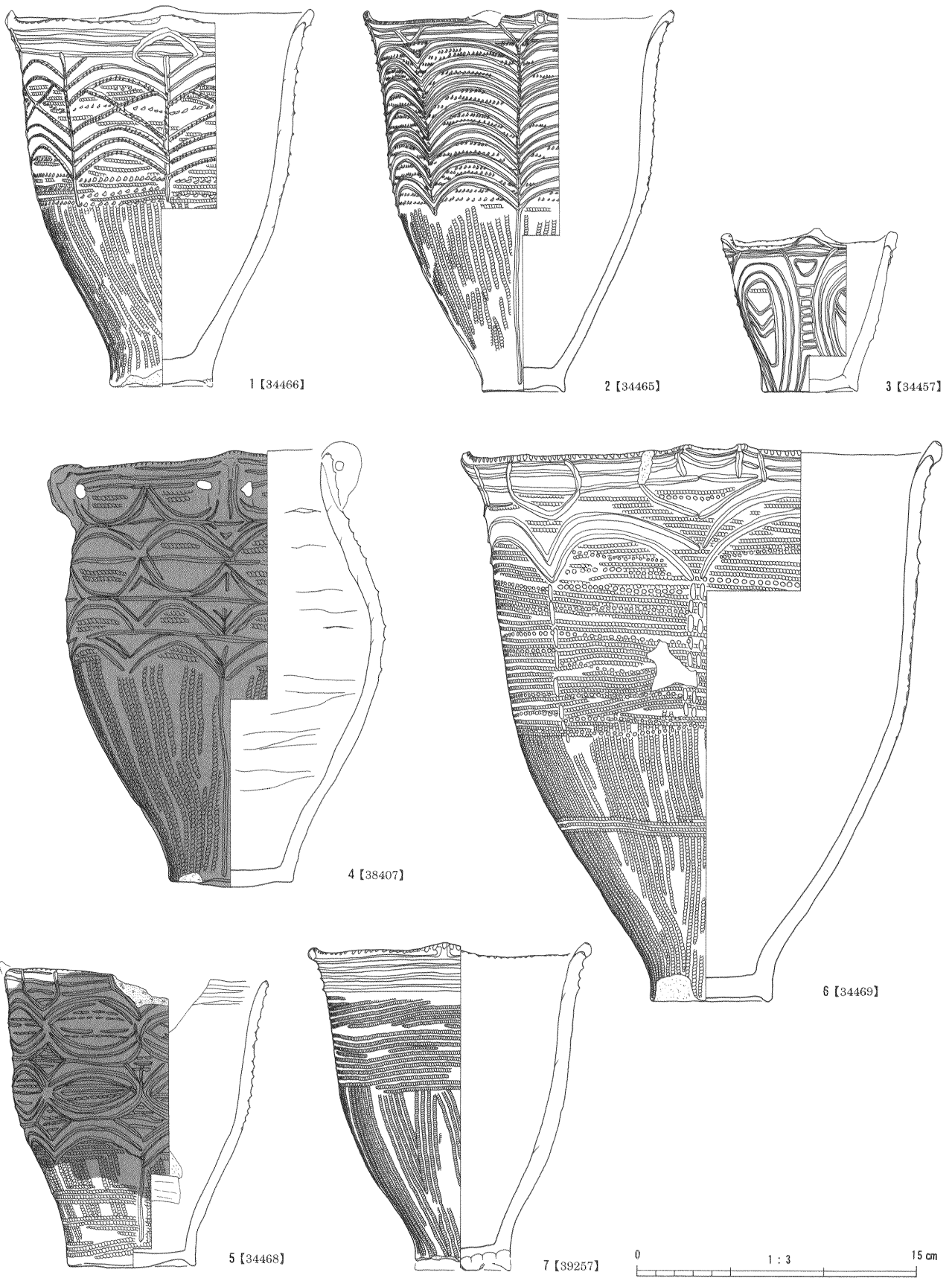


图10 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(8)

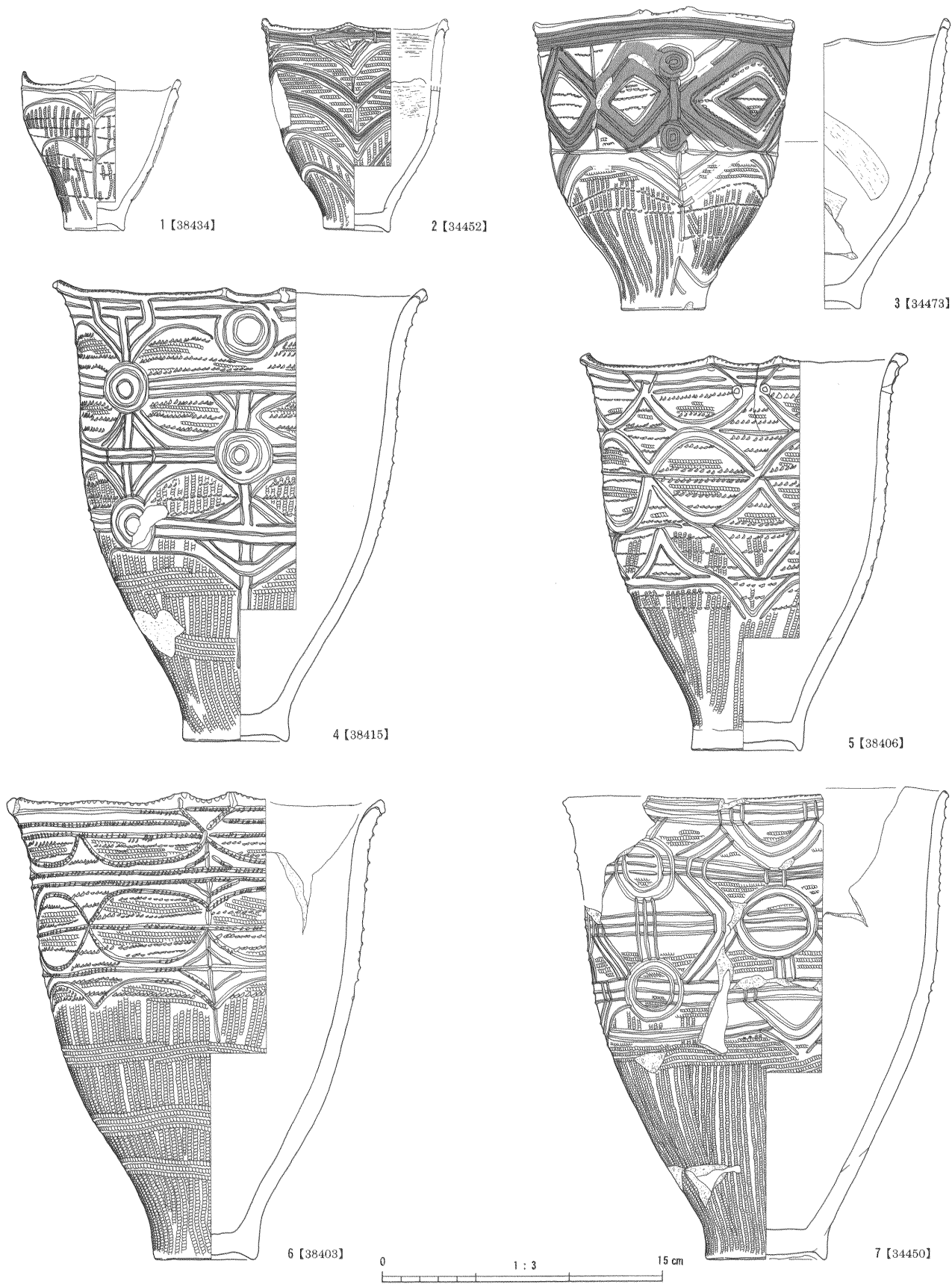


图11 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(9)



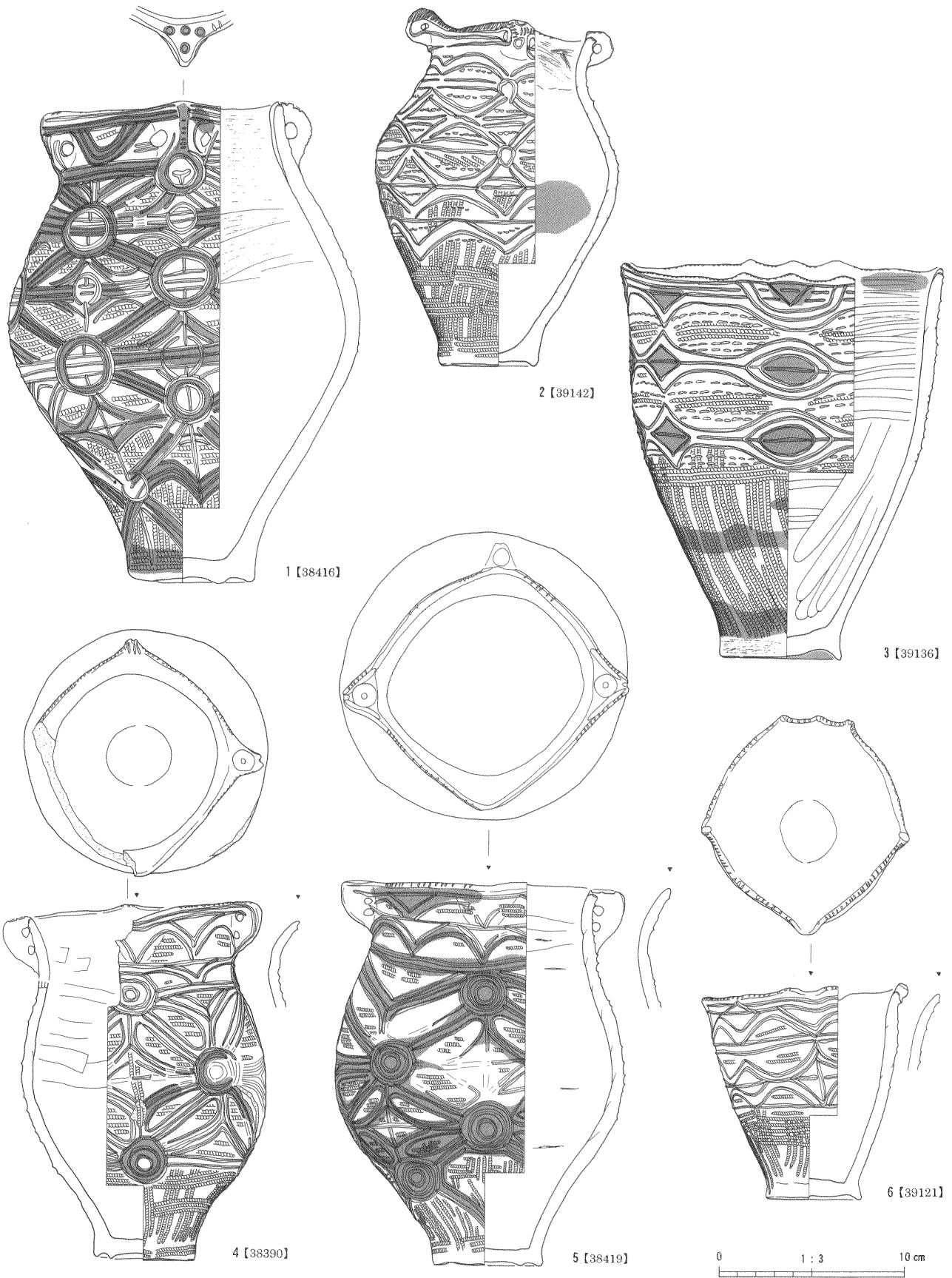


图12 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(10)

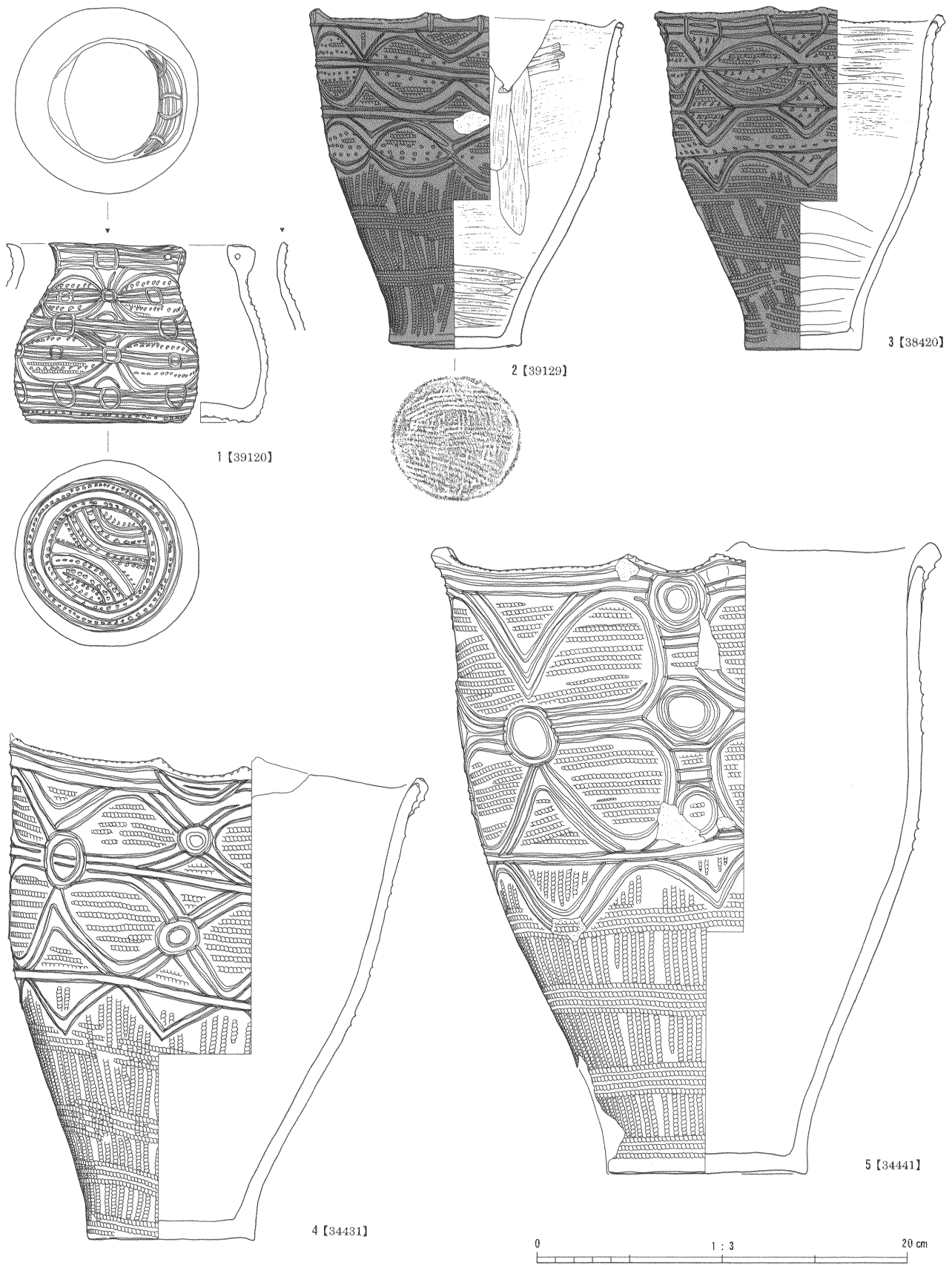


图13 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(11)

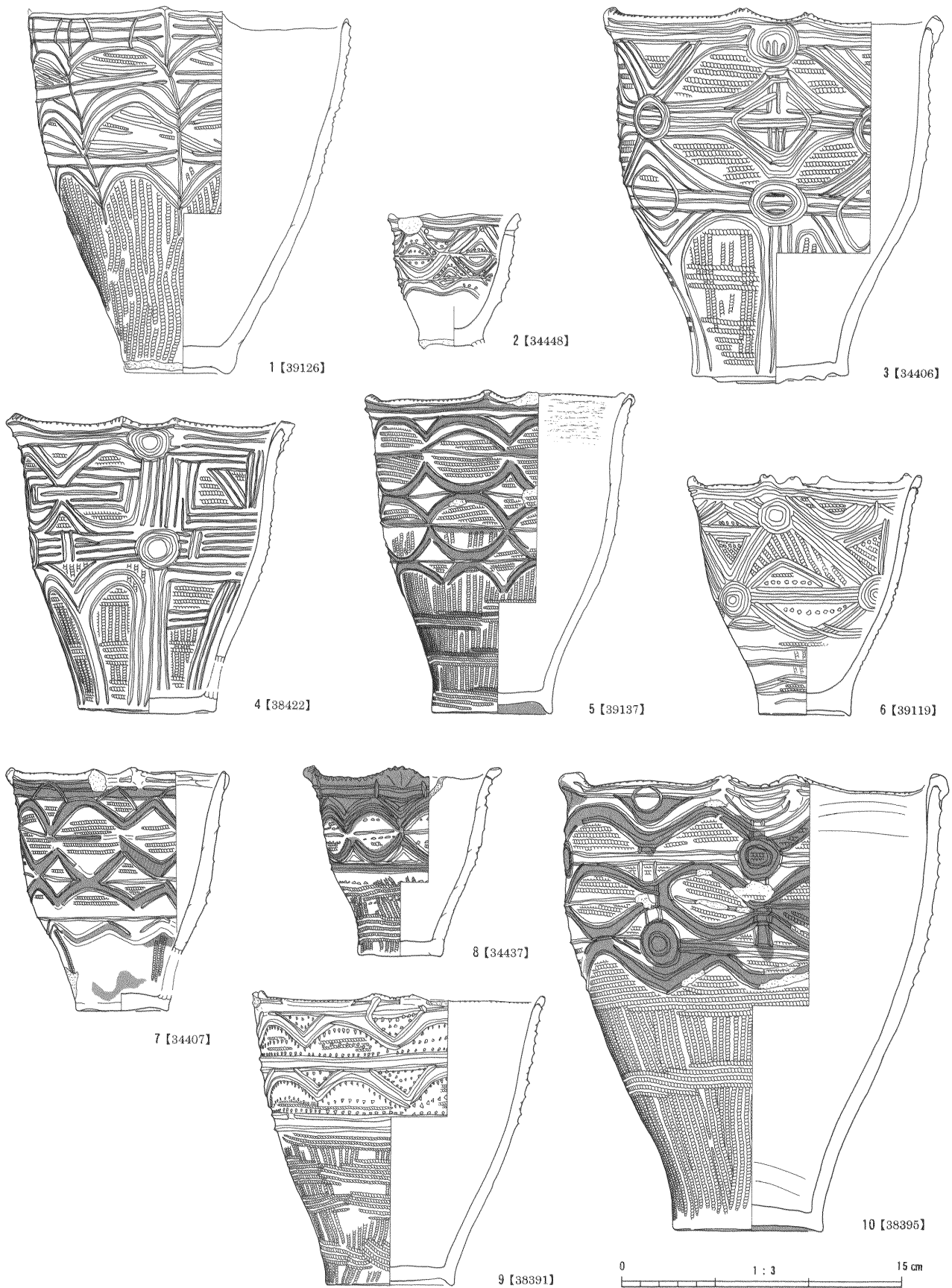


图14 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(12)

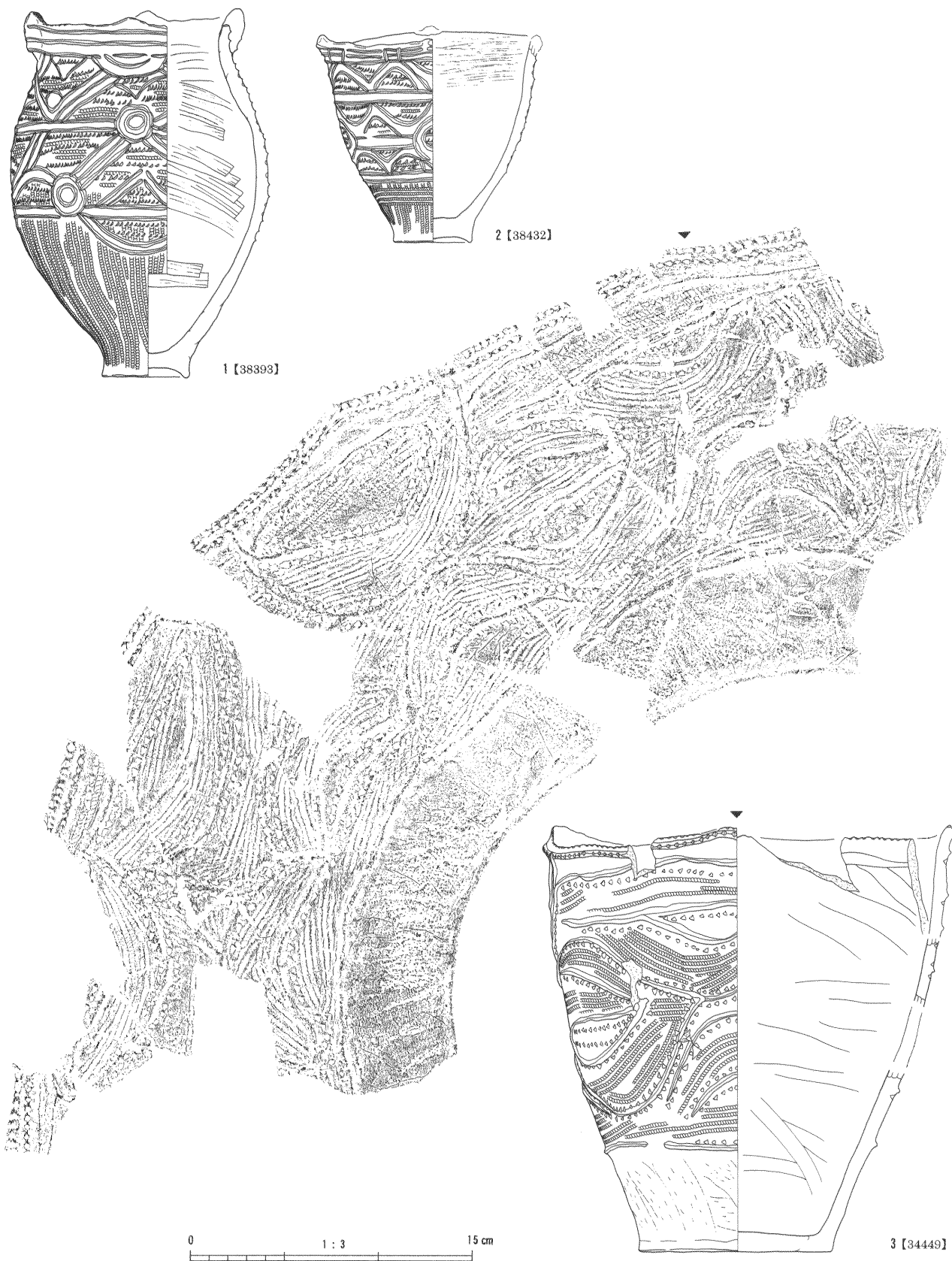


图15 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(13)

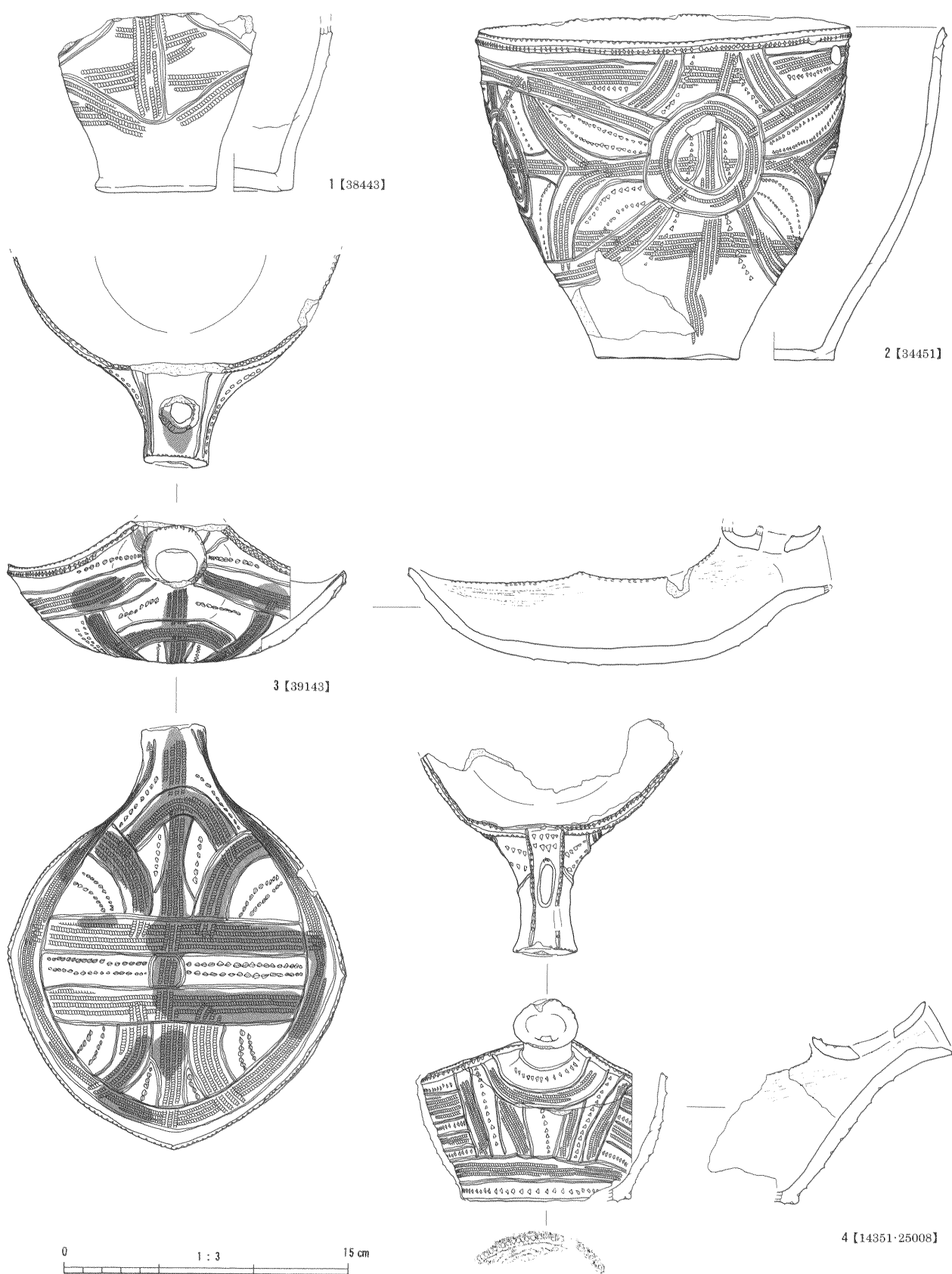


图16 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(14)

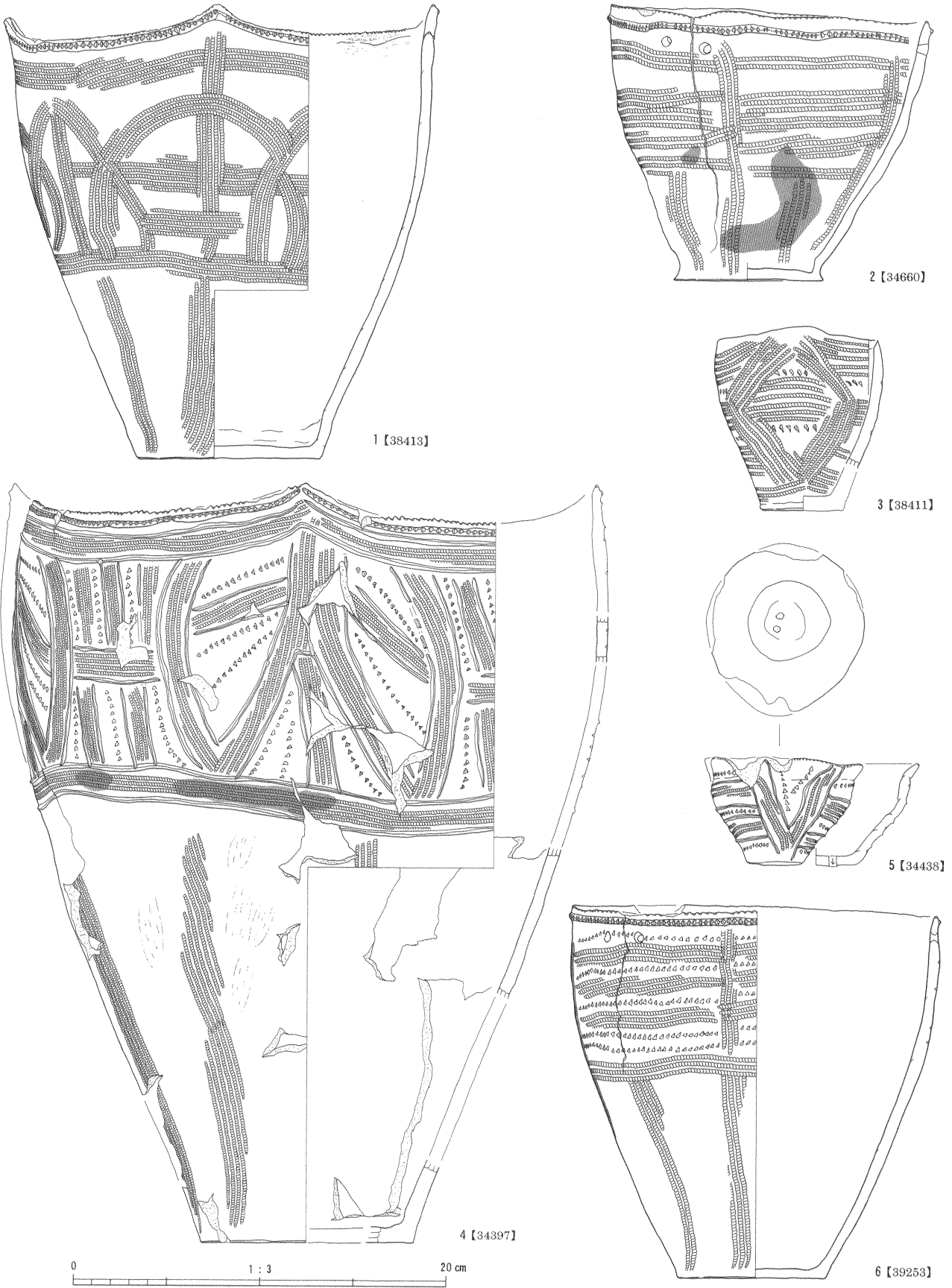


图17 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(15)



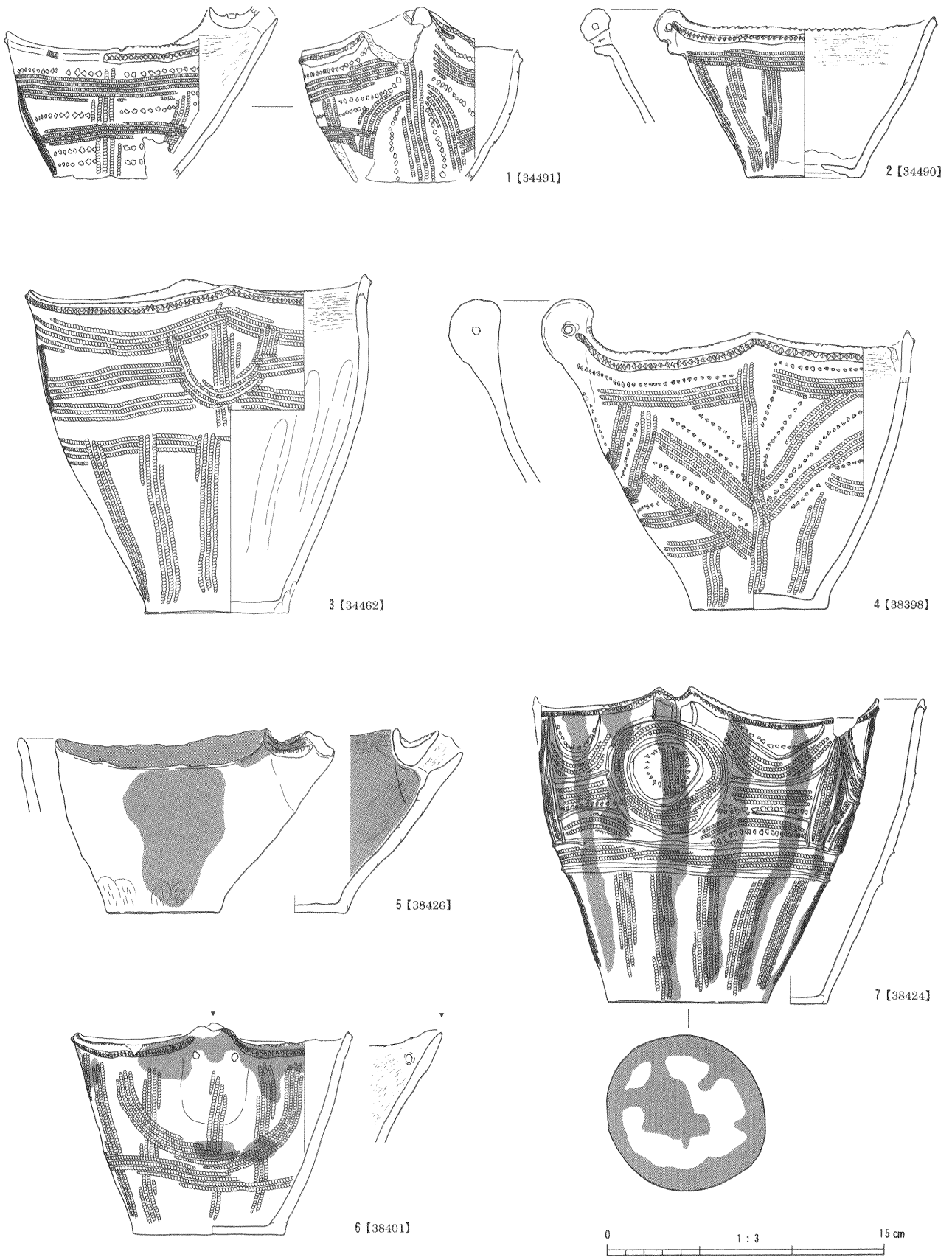


图18 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(16)



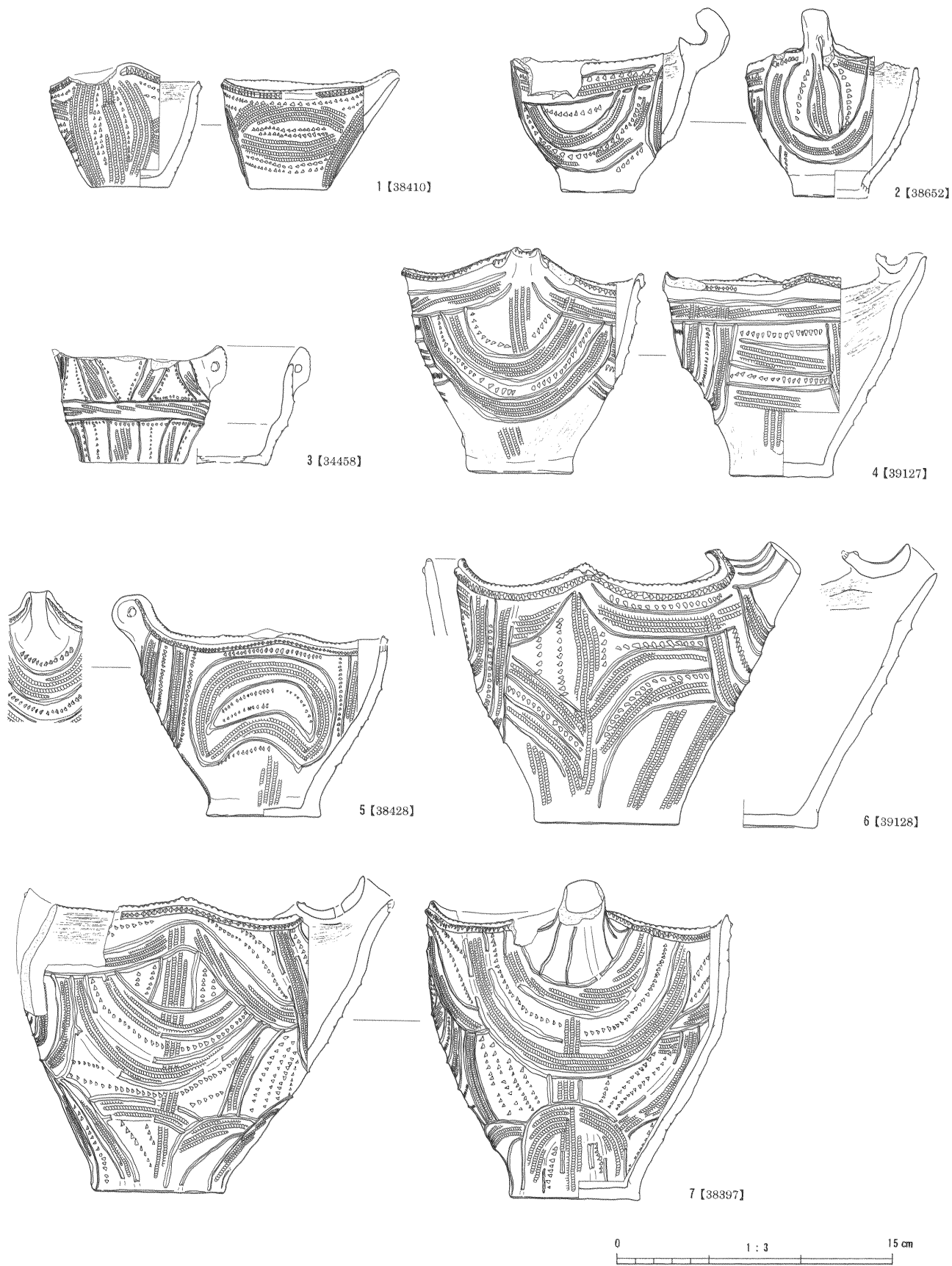


图19 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(17)

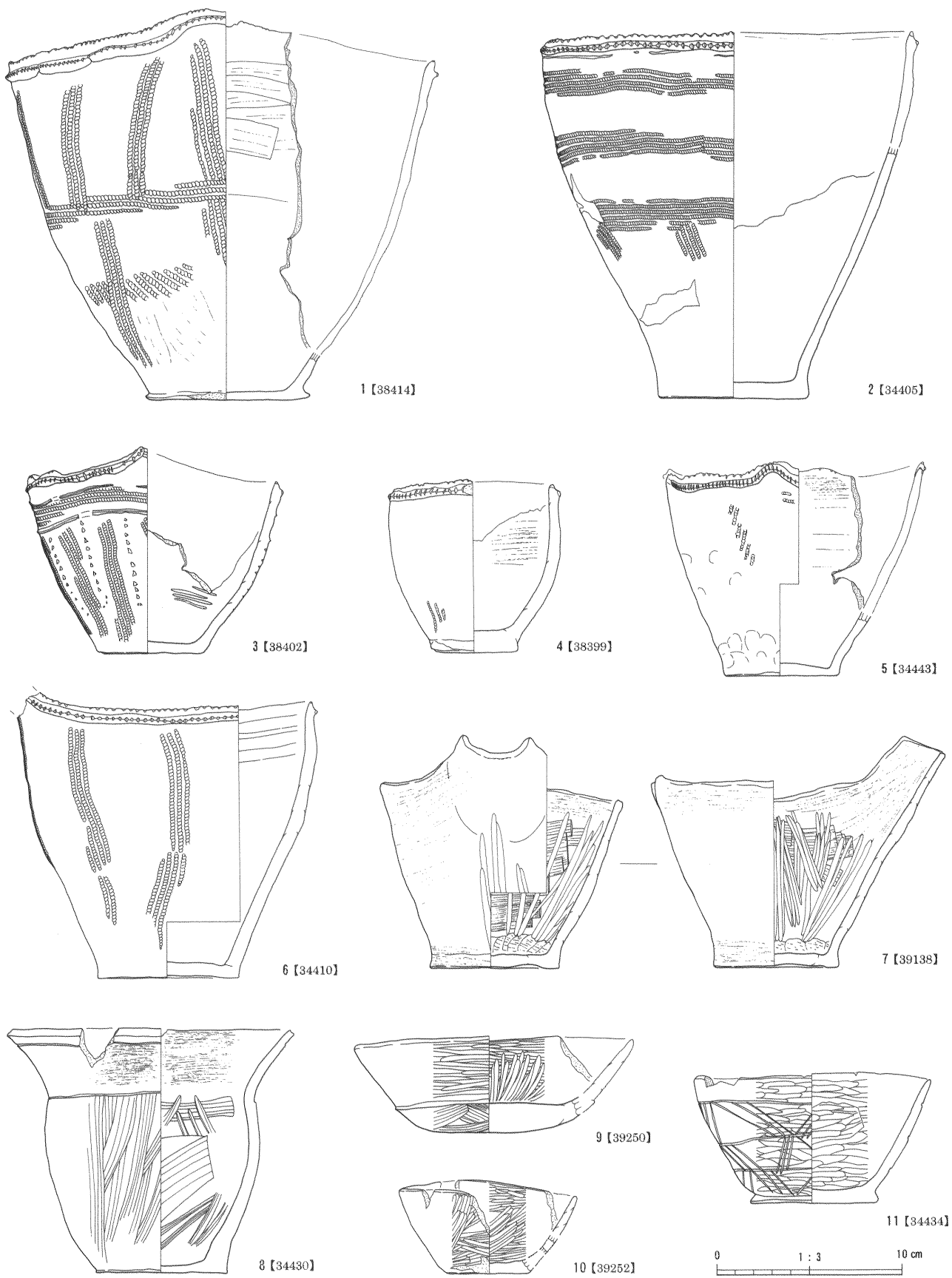


图20 旧豊平川右岸丘陵地出土土器(18)